



資料編

～松戸市立図書館本館・分館の現状分析～

「今後の松戸市立図書館のあり方」を作成するにあたって、図書館本館及び19分館の訪問調査を行いました。松戸市内の人口分布も含めた図書館本館及び19分館の現状分析を行い、「資料編」としてまとめたので、ご参照ください。

目次

1. 現在の松戸市立図書館の配置状況と人口分布	4
2. 松戸市立図書館の各分館における年代別の実利用者数.....	5
3. 本館・各分館の現状分析	7
(1) ① 本館.....	8
(1) ② 子ども読書推進センター	18
(2) 常盤平分館.....	22
(3) 小金原分館.....	26
(4) 新松戸分館.....	30
(5) 小金分館.....	34
(6) 稔台分館.....	38
(7) 矢切分館.....	42
(8) 馬橋分館.....	46
(9) 古ヶ崎分館.....	50
(10) 五香分館.....	54
(11) 明分館.....	58
(12) 六実分館.....	62
(13) 東部分館.....	66
(14) 馬橋東分館.....	70
(15) 小金北分館.....	74
(16) 松飛台分館.....	78
(17) 二十世紀が丘分館	82
(18) 八柱分館.....	86
(19) 八ヶ崎分館.....	90
(20) 和名ヶ谷分館.....	94

◆ 凡例

「図書館の特徴について」に記載の日本十進分類法と別置記号の詳細を以下に記載します。

◆ 日本十進分類法

0類：総記 1類：哲学 2類：歴史 3類：社会科学 4類：自然科学
5類：技術 6類：産業 7類：芸術・美術 8類：言語 9類：文学

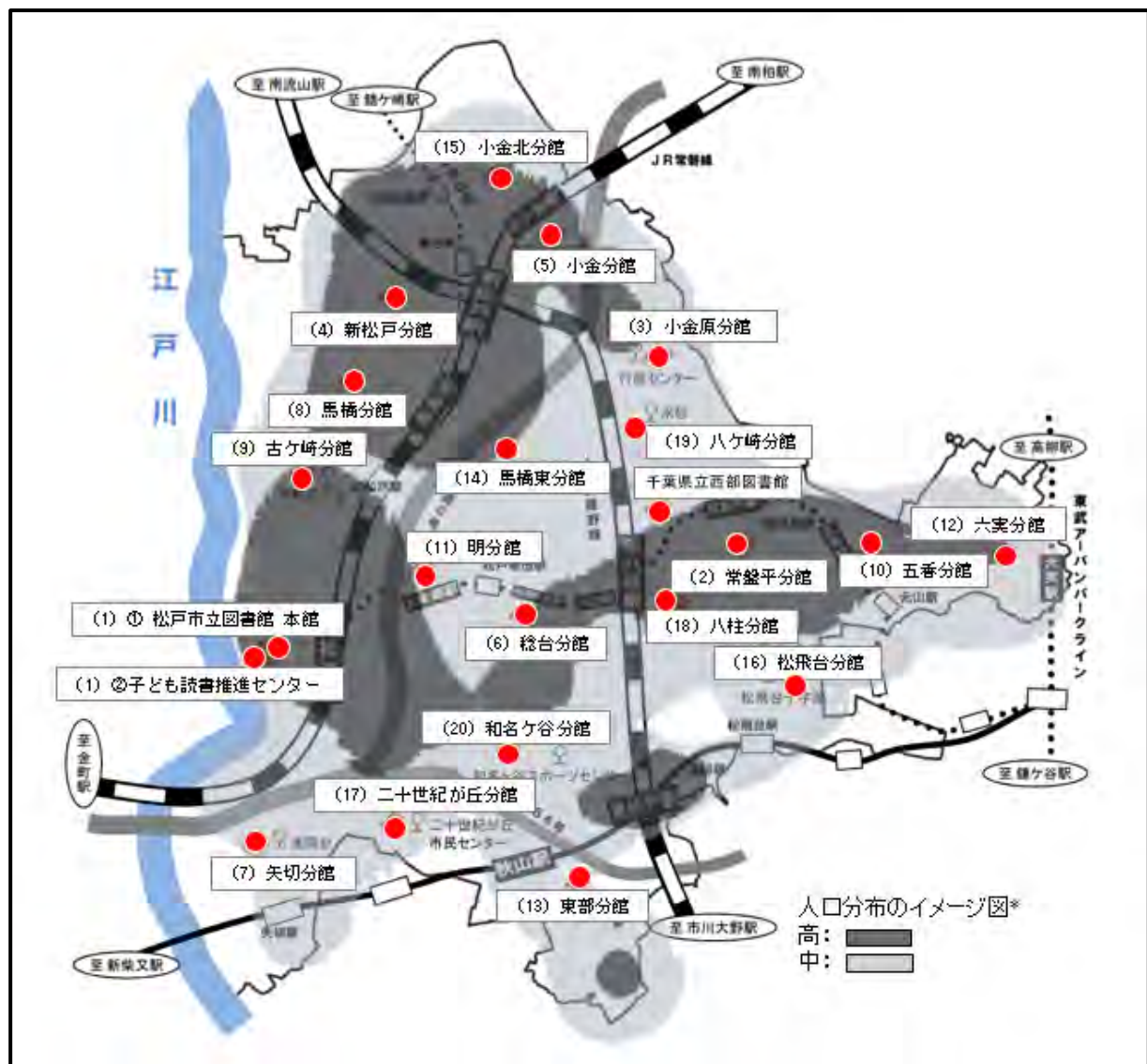
◆ 別置記号

F類：小説

1. 現在の松戸市立図書館の配置状況と人口分布

現在の松戸市立図書館の配置状況と人口分布をあわせて記載したイメージ図を示します。松戸市が公開している「松戸市年齢階層別人口統計表（町丁字別）」¹を参考に、人口分布のイメージ図を作成しました。イメージ図では、分布度合いの高い地域を濃いグレー、中間の地域を薄いグレーとしています。

松戸市立図書館の配置状況と人口分布のイメージ図



¹ 松戸市年齢階層別人口統計表（町丁字別）
[\[https://www.city.matsudo.chiba.jp/profile/jinkoutoukei/jinkou/kihondaityou/nenrei-tyou.html\]](https://www.city.matsudo.chiba.jp/profile/jinkoutoukei/jinkou/kihondaityou/nenrei-tyou.html)（最終アクセス日：2019年2月28日）

2. 松戸市立図書館の各分館における年代別の実利用者数

松戸市立図書館は、本館と19分館があり、その位置は分散していることから、おおむね市内の全域をカバーしており、市民は松戸市内のどこに居住しても図書館が利用しやすい環境が整備されています。分館の周辺住民と実利用者の年代（年齢層）について一覧にした表を、表1「各分館の周辺住民と実利用者の多い年代より上位3つ」に示します。

なお、周辺住民については「松戸市人口年齢階層別統計」（以下、「松戸市人口統計」）より、実利用者については利用統計「貸出館コード年齢区分別実利用者数」（以下、「利用統計」）より参照しました。

表1 各分館の周辺住民と実利用者の多い年代より上位3つ

		最も多い年代	最も多い年代数	2番目に多い	2番目に多い数	3番目に多い	3番目に多い数
明分館	周辺住民	40歳	1,149	30歳	1,039	20歳	952
	実利用者	40歳	712	70歳	494	60歳	474
古ヶ崎分館	周辺住民	40歳	3,309	70歳	3,157	50歳	2,356
	実利用者	40歳	365	70歳	361	60歳	281
小金分館	周辺住民	40歳	1,370	50歳	1,173	30歳	1,155
	実利用者	40歳	985	70歳	888	60歳	878
小金原分館	周辺住民	70歳	3,348	40歳	3,011	60歳	2,656
	実利用者	70歳	1,138	60歳	754	40歳	675
五香分館	周辺住民	40歳	1,999	50歳	1,557	70歳	1,486
	実利用者	40歳	460	70歳	453	60歳	417
常盤平分館	周辺住民	40歳	3,185	50歳	3,149	70歳	3,006
	実利用者	70歳	1,373	40歳	1,280	60歳	1,016
馬橋分館	周辺住民	40歳	2,323	30歳	2,124	50歳	1,922
	実利用者	40歳	662	70歳	554	60歳	494
稔台分館	周辺住民	40歳	2,875	50歳	2,160	30歳	2,052
	実利用者	40歳	673	70歳	504	30歳	472
六実分館	周辺住民	50歳	2,674	40歳	2,265	60歳	2,217
	実利用者	60歳	567	70歳	563	40歳	555
矢切分館	周辺住民	40歳	1,711	50歳	1,349	30歳	1,340
	実利用者	70歳	393	40歳	359	60歳	293

新松戸分館	周辺住民	60歳	4,250	40歳	4,186	20歳	4,150
	実利用者	70歳	393	40歳	359	60歳	293
東部分館	周辺住民	40歳	2,734	50歳	1,884	70歳	1,860
	実利用者	40歳	790	30歳	573	60歳	267
馬橋東分館	周辺住民	40歳	1,905	30歳	1,742	20歳	1,670
	実利用者	40歳	315	70歳	325	30歳	257
小金北分館	周辺住民	40歳	836	50歳	720	60歳	664
	実利用者	70歳	379	40歳	362	60歳	310
松飛台分館	周辺住民	40歳	2,943	70歳	2,363	50歳	2,170
	実利用者	40歳	397	70歳	366	60歳	292
二十世紀が丘分館	周辺住民	40歳	1,466	70歳	1,421	50歳	1,227
	実利用者	40歳	455	70歳	311	60歳	304
八柱分館	周辺住民	40歳	2,761	70歳	2,490	50歳	2,373
	実利用者	40歳	655	70歳	553	60歳	479
八ヶ崎分館	周辺住民	40歳	2,601	50歳	2,173	70歳	2,127
	実利用者	40歳	372	70歳	324	60歳	282
和名ヶ谷分館	周辺住民	40歳	4,170	50歳	2,784	30歳	2,710
	実利用者	40歳	1,309	30歳	811	60歳	537

表1をみると、周辺住民と実利用者の年代がほぼ一致していることがわかります。周辺住民の中で多い年代が実利用者の中の1番目から3番目までにはほぼ含まれており、図書館が周辺住民に利用されていることがよくわかります。

また、稔台分館、矢切分館、東部分館、松飛台分館、二十世紀が丘分館、八ヶ崎分館については、10歳未満～10歳代までの周辺住民の合計人数が、最も多い年齢層よりも多くなっています。ただし、当該の年齢層については、「利用統計」と「松戸市人口統計」の年齢層の区切りが異なっており、「利用統計」では19歳が含まれず、「松戸市人口統計」では19歳が含まれているため、その点に留意が必要です。

なお、「松戸市人口統計」は2018年9月末現在、「利用統計」は2017年度（2017年4月1日～2018年3月31日）のものを使用しました。

3. 本館・各分館の現状分析

本節では、表1と分館調査の結果をうけ、文部科学省告示「図書館の設置及び運営上の望ましい基準（平成24年）」（以下、「望ましい基準」）と、これからの図書館の在り方検討協力者会議「これからの図書館像―地域を支える情報拠点をめざして―（報告）（平成18年）」（以下、「これからの図書館像」）を参照し、その内容を踏まえた上で本館及び分館の現状を分析し、今後の展開の可能性も含め、その見解を取りまとめました。

なお、主たる論点では、周辺住民の中で実利用として利用されていない年代が、利用に転じるためにはどの項目を参照すればよいかについて述べました。その他、表1の最も多い年代に60歳代～70歳代の実利用者が多い場合には、さらなる利用促進のためにはどの項目を参照すればよいかについても触れています。

また、「望ましい基準」と「これからの図書館像」については、それぞれの中から該当箇所を引用しました（詳細についてはそれぞれの文献をご参照ください）。

(1) ① 本館

築年数	44年		所在地	松戸市松戸2060番地				
職員	職員29名、 非常勤17名		施設	独立館				
面積(延べ床)	1932.32㎡		設備	OPAC5台、インターネットPC6台(タブレット型 端末3台を含む)、読書通帳機1台				
蔵書収容能力	91,065冊		座席数	232席				
項目\年	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2017
蔵書冊数※1	89,000	137,000	160,000	149,000	178,000	152,000	156,000	166,000
貸出冊数	285,000	252,000	340,000	280,000	281,000	299,000	267,000	275,000
回転率※2	3.2	1.8	2.1	1.9	1.6	2.0	1.7	1.7
登録者数	—	—	—	—	—	42,300	38,933	29,921
利用者数※3	—	—	—	—	—	80,066	63,352	71,286
一人あたり 平均貸出冊数※4	—	—	—	—	—	3.73	4.21	3.86

日本図書館協会「日本の図書館」及び松戸市立図書館「平成30年度図書館要覧」より作成

※1 2000年までは1,000冊単位で記載

※2 貸出冊数÷蔵書冊数(1冊の本が1年間で何回貸し出されたかを示す)

※3 1年あたり1冊以上の貸出がある登録者

※4 貸出冊数÷利用者数

周辺地図



周辺環境

本館は、JR・新京成松戸駅西口下車徒歩7分の距離にあります。周辺は商業地と住宅地となっており、中部小学校に隣接しています。近隣には、およそ14,291世帯26,532名が在住し、最も多い年齢層は、40歳代で4,622名、次に30歳代の4,122名、20歳代の3,967名です。また、0～9歳が1,895名、10歳代が1,965名となっています。

図書館の特徴

蔵書の分類からみると多い順に9類15,411冊、3類10,558冊、2類7,913冊であり、最も貸出がある分類は、多い順にF類、9類、3類となります。

利用者の特徴

平成29年度における貸出実績のある実利用者数を年齢層別にみると、多い順に40歳代1,583名、60歳代1,321名、70歳代1,143名、その他、30歳代、50歳代も1,100名程度、0～18歳が1,509名となっています。人口分布図と周辺環境とを併せて考えてみると、市内全域から利用していることがわかります。

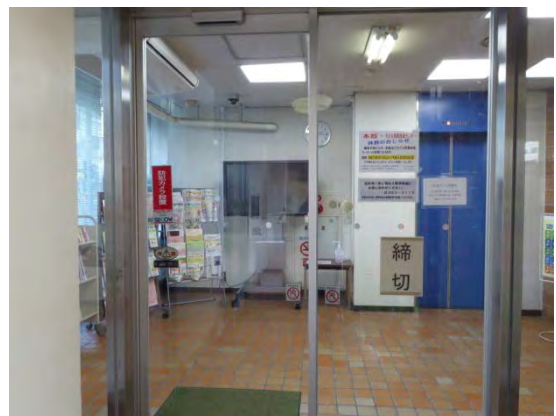
現在の利用状況と今後の展開

本館では、20歳代～40歳代が周辺住民に多いものの、実利用者としては、それらの年代に加え60歳代、70歳代も多く、様々な世代が利用していることがわかります。これからの図書館像では、“魅力的な図書館づくり”について言及されており、松戸市の図書館サービスの中心としてふさわしい機能の検討が必要です。

図書館の写真（本館①）



外観



本館入口



1階 カウンター



1階 全体



1階 閲覧席



1階 読書通帳機

図書館の写真（本館②）



2階全体



2階 書架



2階 新着図書案内



2階 企画展示コーナー



2階 雑誌架

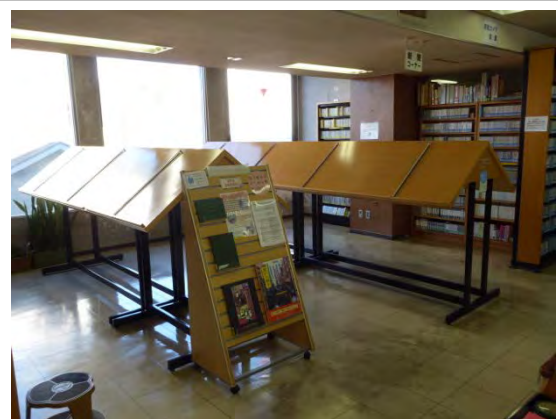


2階 YA コーナー

図書館の写真（本館③）



3階 全体



3階 新聞架



3階 書架



3階 市政情報コーナー



3階 インターネット席 (3席)



3階 調査席 (8席)

※本館3階には、上記以外にも閲覧席 (8席)、パソコン使用席 (5席) あり。

図書館の写真（本館④）



5階 ビジネス席 (12席)



5階 休憩スペース

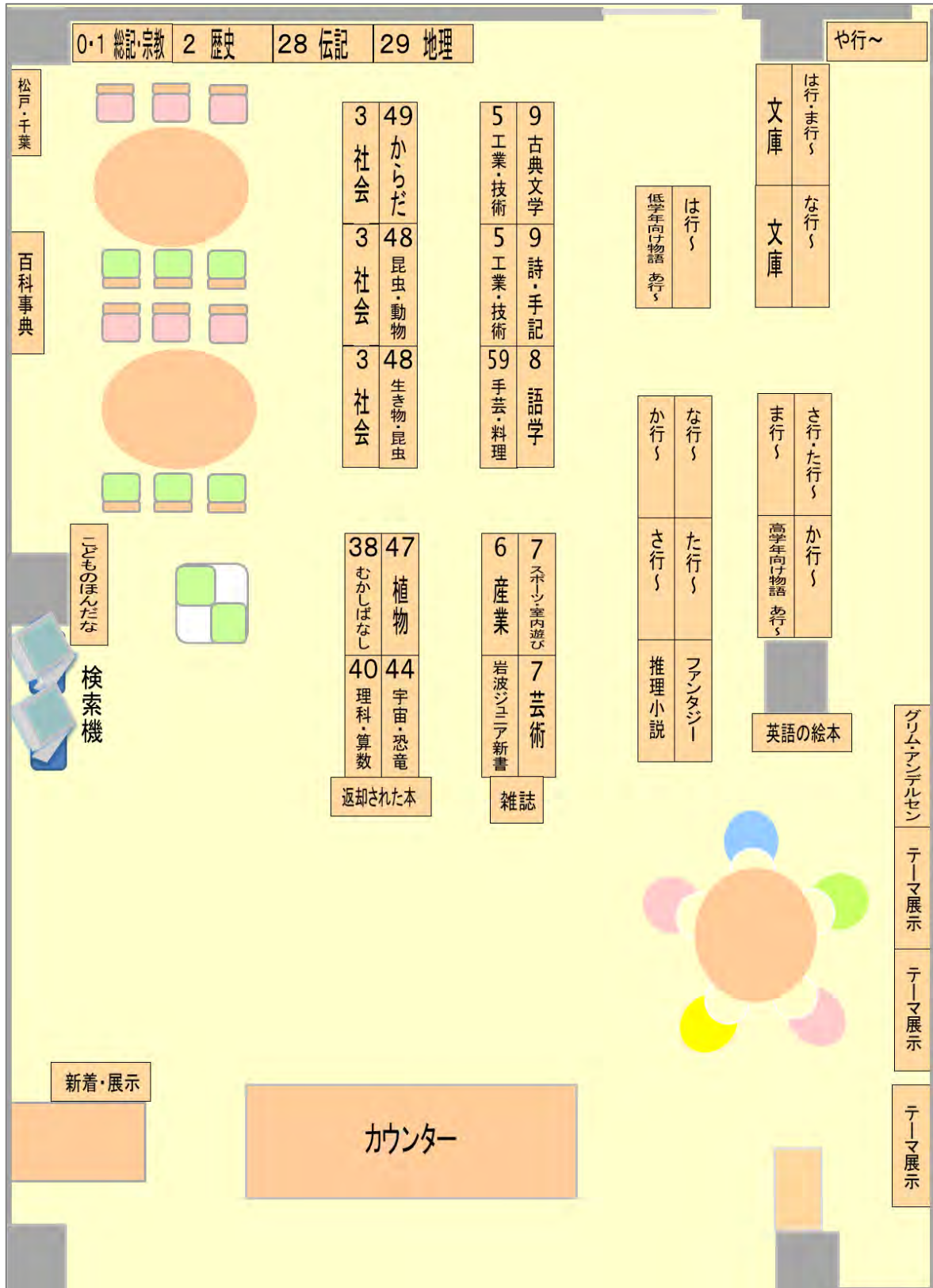


5階 学習室入口

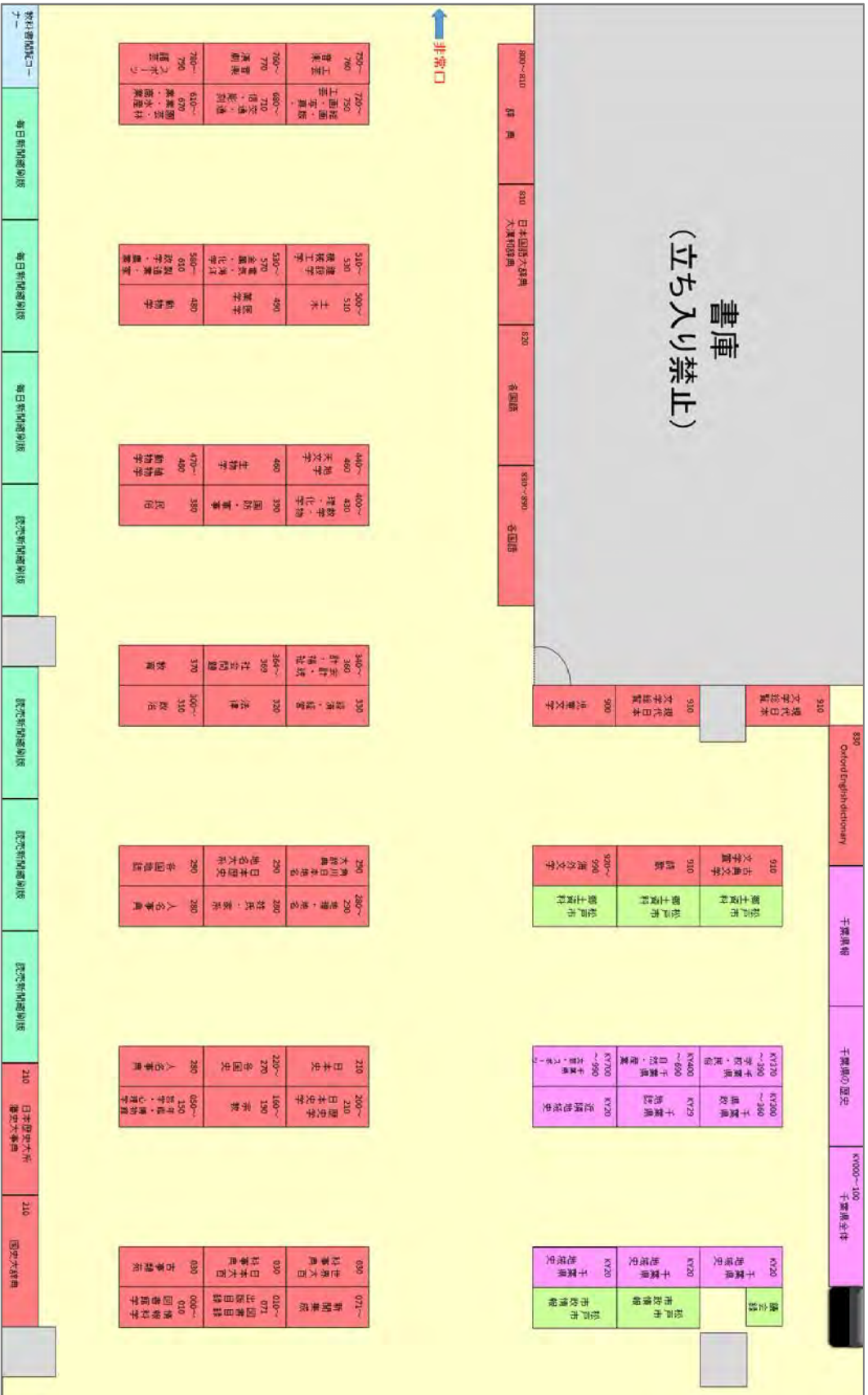


5階 学習室 (128席)

書架配置図 (1階)



書架配置図 (3階 西側)



(1) ② 子ども読書推進センター

周辺環境

子ども読書推進センターは、JR・新京成松戸駅西口下車徒歩7分の距離にあります。周辺は商業地と住宅地となっており、中部小学校に隣接しています。近隣には、およそ14,291世帯26,532名が在住し、最も多い年齢層は、40歳代で4,622名、次に30歳代の4,122名、20歳代の3,967名です。また0～9歳が1,895名、10歳代が1,965名となっています。

図書館の特徴

蔵書の分類からみると多い順にE類10,312冊、KA類940冊、O類177冊であり、最も貸出がある分類は、多い順にE類、KA類、9類となります。

利用者の特徴

平成29年度における貸出実績のある実利用者数を年齢層別にみると、多い順に0～12歳が620名、30歳代389名、40歳代304名となっています。人口分布図と周辺環境とを併せて考えると、市内全域から利用していることがわかります。

現在の利用状況と今後の展開

子ども読書推進センターでは、20歳代～40歳代が周辺住民に多いものの、実利用者としては、乳幼児や児童、その保護者などが利用していることがわかります。望ましい基準では、“子どもの読書活動の推進”について言及されています。さらなる子どもの読書活動の支援と環境の整備について検討が必要です。

図書館の写真（子ども読書推進センター①）



外観 1



外観 2



1階 入口



1階 ぐりとぐらの家



1階 カウンター



1階 読書通帳機

図書館の写真（子ども読書推進センター②）



1階 展示コーナー



2階 絵本コーナー

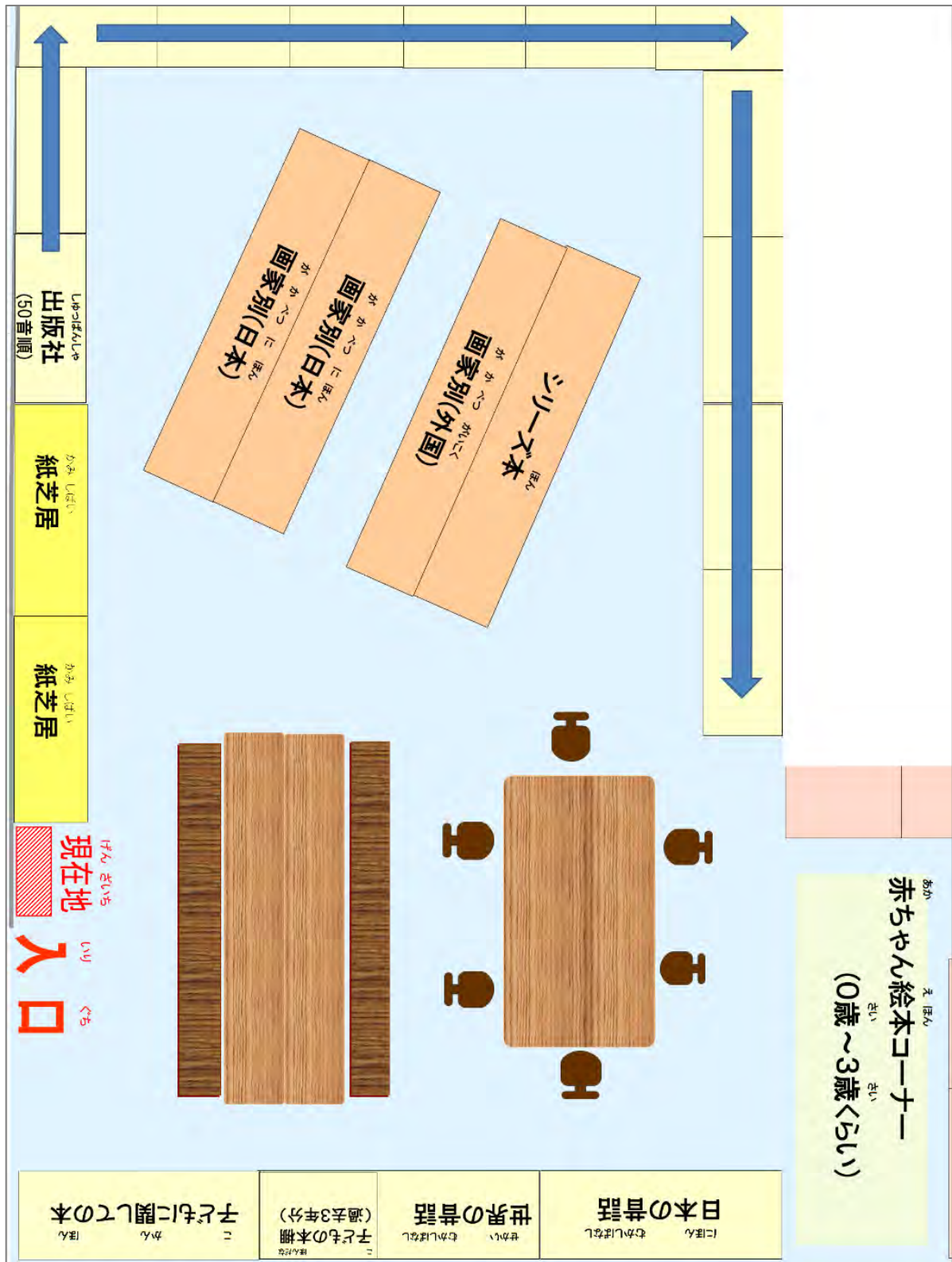


2階 おはなし会コーナー



2階 研修室

書架配置図（子ども読書推進センター 2階絵本コーナー）



(2) 常盤平分館

築年数	46年			所在地	松戸市常盤平 3-30			
職員	非常勤 5名			施設	常盤平市民センター			
面積(延べ床)	177.6㎡			設備	OPAC 2台、インターネット PC 1台			
蔵書収容能力	34,000冊			座席数	23席			
項目\年	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2017
蔵書冊数※1	38,000	41,000	42,000	34,000	36,121	36,345	37,479	37,055
貸出冊数	235,000	163,000	190,000	194,000	189,559	223,673	241,652	223,923
回転率※2	6.2	4.0	4.4	5.7	5.2	6.2	6.4	6.0
登録者数	—	—	—	—	—	17,485	16,527	12,969
利用者数※3	—	—	—	—	—	58,297	56,975	60,434
一人あたり 平均貸出冊数※4	—	—	—	—	—	3.84	4.24	3.71

日本図書館協会「日本の図書館」及び松戸市立図書館「平成30年度図書館要覧」より作成

※1 2000年までは1,000冊単位で記載

※2 貸出冊数÷蔵書冊数(1冊の本が1年間で何回貸し出されたかを示す)

※3 1年あたり1冊以上の貸出がある登録者

※4 貸出冊数÷利用者数

周辺地図



周辺環境

常盤平分館は、新京成常盤平駅からおよそ徒歩 11 分の距離にあります。周辺には、金ヶ作公園があり都市再生機構（UR 都市機構）の団地が 55 棟 4,823 戸あります。また、常盤平第一小学校はおよそ徒歩 5 分、常盤平第二小学校はおよそ徒歩 6 分、常盤平中学校はおよそ徒歩 6 分の距離にあります。近隣住宅は、常盤平 1 丁目～7 丁目地域におよそ 11,718 世帯 21,722 名が在住し、最も多い年齢層は、多い順に 40 歳代 3,185 名、50 歳代 3,149 名、70 歳代 3,006 名です。

図書館の特徴

蔵書の分類からみると多い順に 9 類 4,414 冊、F 類 4,080 冊、5 類 2,454 冊であり、最も貸出がある分類は多い順に F 類次に 5 類、9 類です。

利用者の特徴

平成 29 年度における貸出実績のある実利用者数を年齢層別にみると、多い順に 70 歳代 1,373 名、40 歳代 1,280 名、60 歳代 1,016 名となっています。人口分布図と周辺環境とを併せて考えてみると、周辺の在住者が利用していることがわかります。

現在の利用状況と今後の展開

常盤平分館では、実利用者の総数が他分館よりも多い状況です。一方で、近隣に小中学校があるものの、10 歳未満～10 歳代の利用はあまり多くありません。「望ましい基準」では“児童・青少年に対するサービス”と、「これからの図書館像」では“学校との連携・協力”について定められています。小金原分館、稔台分館、矢切分館、東部分館、二十世紀が丘分館、八ヶ崎分館と同様に 10 歳未満～10 歳代へのサービスとして検討が必要です。

図書館の写真（常盤平分館）



建物正面



分館入口



館内写真 (1)



館内写真 (2)



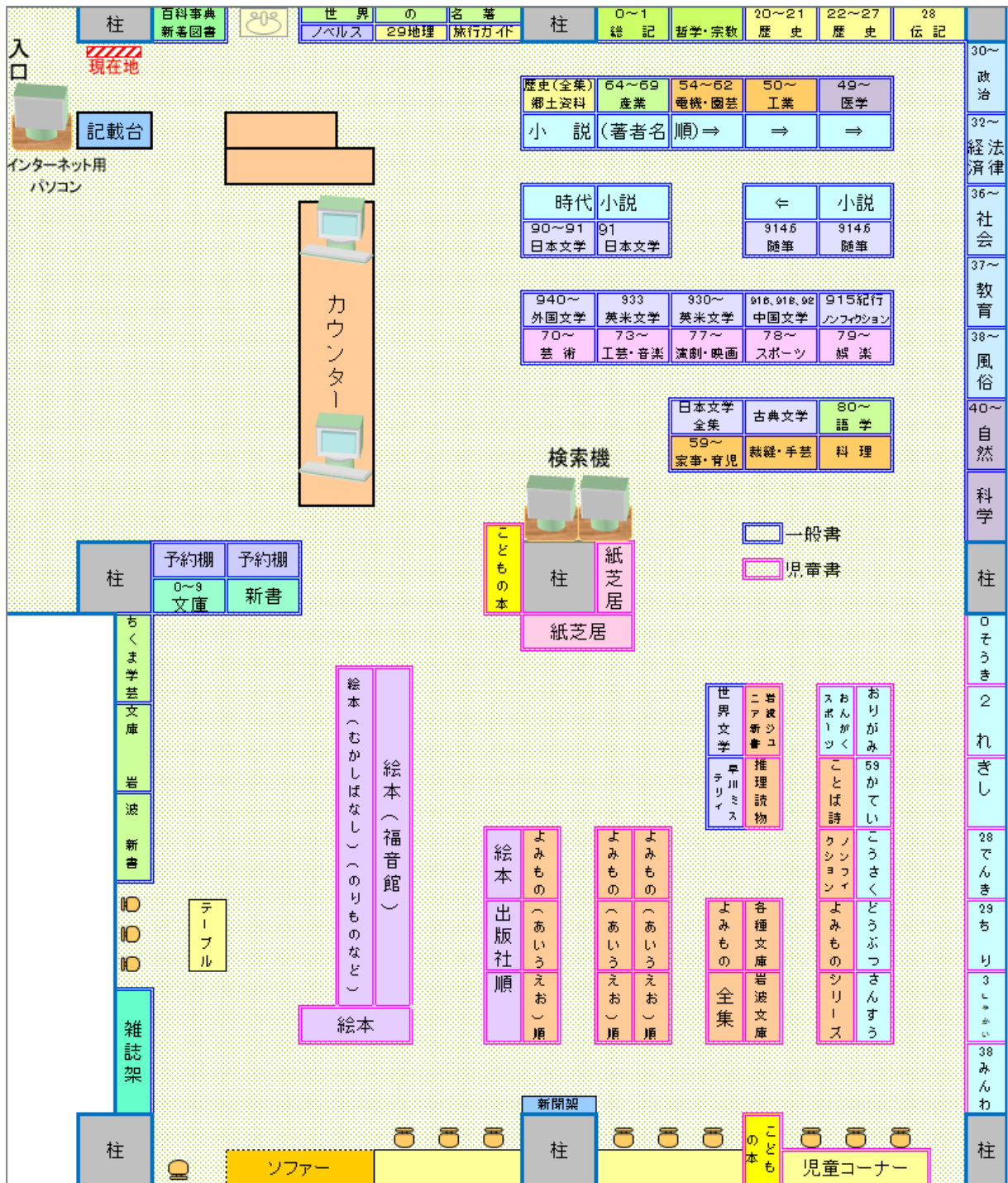
館内写真 (3)



館内写真 (4)

館内配置図 (常盤平分館)

面積 (延べ床) : 177.6 m²



(3) 小金原分館

築年数	42年		所在地	松戸市小金原6丁目6-2				
職員	非常勤3名		施設	小金原市民センター内				
面積(延べ床)	188.01㎡		設備	OPAC2台、インターネット用PC1台				
蔵書収容能力	36,500冊		座席数	26席				
項目\年	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2017
蔵書冊数※1	34,000	40,000	44,000	40,000	38,347	37,617	37,785	38,817
貸出冊数	191,000	154,000	149,000	137,000	130,220	126,238	126,915	120,106
回転率※2	5.6	3.9	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.1
登録者数	—	—	—	—	—	13,583	12,169	9,101
利用者数※3	—	—	—	—	—	35,814	39,145	39,189
一人あたり 平均貸出冊数※4	—	—	—	—	—	3.52	3.24	3.06

日本図書館協会「日本の図書館」及び松戸市立図書館「平成30年度図書館要覧」より作成

※1 2000年までは1,000冊単位で記載

※2 貸出冊数÷蔵書冊数(1冊の本が1年間で何回貸し出されたかを示す)

※3 1年あたり1冊以上の貸出がある登録者

※4 貸出冊数÷利用者数

周辺地図



周辺環境

小金原分館は、柏市との市境に近く、鉄道の最寄り駅からは徒歩圏内にありません（JR 北小金駅から松戸新京成バス「小金原団地循環」か「バス案内所」ゆき、または新京成八柱駅から松戸新京成バス「北小金駅」ゆきで行政センター下車徒歩1分、新京成常盤平駅までおよそ徒歩30分）。周辺には、都市再生機構（UR 都市機構）の団地が18棟420戸あり、根木内小学校、栗ヶ沢小学校はおよそ徒歩10分の距離にあります。近隣住民は、小金原1丁目～9丁目でおおよそ9,992世帯21,077名が在住し、最も多い年齢層は、70歳代3,348名で次に40歳代3,011名、60歳代2,656名です。

図書分類の特徴

蔵書の分類からみると多い順に9類5,187冊、F類4,835冊、3類3,757冊であり、最も貸出がある分類は、多い順にF類で次に9類、5類です。

利用者の特徴

平成29年度における貸出実績のある実利用者数を年代別にみると、多い順に70歳代1,138名、60歳代754名、40歳代675名となっています。人口分布図と周辺環境とを併せて考えてみると、分館周辺の在住者が利用していることがわかります。

現在の利用状況と今後の展開

小金原分館では、実利用者数の総数が他館よりも多い状況であり、周辺住民と実利用者の年齢層がほぼ一致しています。分館調査では、周辺に小学校があり、休日に10歳未満～10歳代の来館が多いことが明らかになっています。「望ましい基準」では、“利用者に対応したサービス”として、“児童・青少年に対するサービス”と“乳幼児とその保護者に対するサービス”について定められています。また、「これからの図書館像」では、“学校との連携・協力”についても言及されていることから、常盤平分館、稔台分館、矢切分館、東部分館、二十世紀が丘分館、八ヶ崎分館と同様に10歳未満～10歳代及び保護者へのサービスとして検討が必要です。

図書館の写真（小金原分館）



建物正面



分館入口



館内写真 (1)



館内写真 (2)



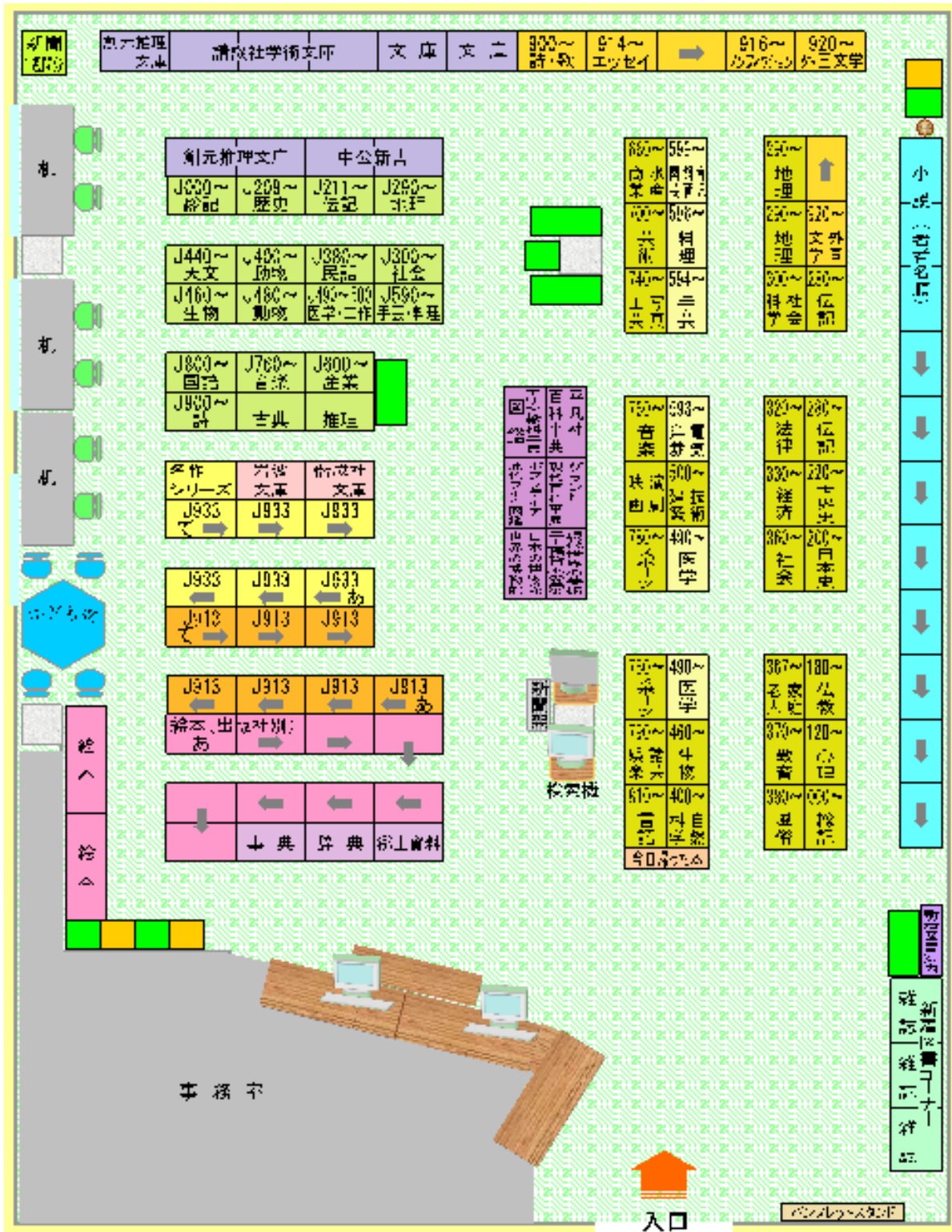
館内写真 (3)



館内写真 (4)

館内配置図（小金原分館）

面積（延べ床）：188.01㎡



(4) 新松戸分館

築年数	37年			所在地	松戸市新松戸3丁目27番地				
職員	非常勤6名			施設	新松戸市民センター、こどものとしょかん				
面積(延べ床)	217.39㎡ (内こどものとしょかんは63㎡)			設備	OPAC3台、インターネット用PC1台				
蔵書収容能力	25,000冊			座席数	17席				
項目\年	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2017	
蔵書冊数※1	28,000	38,000	34,000	30,000	27,698	26,720	27,517	27,317	
貸出冊数	259,000	195,000	190,000	191,000	178,247	211,765	224,588	96,170	
回転率※2	9.3	5.1	5.6	6.4	6.4	7.9	8.2	3.5	
登録者数	—	—	—	—	—	21,369	19,424	15,045	
利用者数※3	—	—	—	—	—	64,965	77,421	84,203	
一人あたり 平均貸出冊数※4	—	—	—	—	—	3.26	2.90	1.14	

日本図書館協会「日本の図書館」及び松戸市立図書館「平成30年度図書館要覧」より作成

※1 2000年までは1,000冊単位で記載

※2 貸出冊数÷蔵書冊数(1冊の本が1年間で何回貸し出されたかを示す)

※3 1年あたり1冊以上の貸出がある登録者

※4 貸出冊数÷利用者数

周辺地図



周辺環境

新松戸分館は、JR 新松戸駅からおよそ徒歩 12 分の距離にあります。周辺には新松戸中央公園、住宅地と商業地があり、馬橋北小学校はおよそ徒歩 8 分、新松戸南中学校はおよそ徒歩 10 分の距離にあります。近隣は、およそ 14,765 世帯 29,720 名が在住し、最も多い年齢層は、60 歳代 4,250 名、40 歳代 4,186 名、20 歳代 4,150 名です。

図書館の特徴

蔵書の分類からみると多い順に F 類 3,878 冊、9 類 3,001 冊、3 類 2,544 冊であり、最も貸出がある分類は多い順に F 類、9 類、5 類です。

利用者の特徴

平成 29 年度における貸出実績のある実利用者数を年齢層別にみると、多い順に 70 歳代 393 名、40 歳代 359 名、60 歳代 293 名となっています。人口分布図と周辺環境とを併せて考えてみると、分館周辺の在住者が利用していることがわかります。

現在の利用状況と今後の展開

新松戸分館では、20 歳代が多く居住しているものの、あまり利用されていないことがわかります。「望ましい基準」では“地域の課題に対応したサービス”のうち、“就職・転職、起業、職業能力開発、日常の仕事等に関する資料及び情報の整備・提供”について定められています。明分館と馬橋東、小金北分館と同様に 20 歳代へのサービスとして検討が必要です。また、近隣に小中学校があることから、「望ましい基準」の“児童・青少年に対するサービス”や「これからの図書館像」の“学校との連携・協力”について検討が必要です。

図書館の写真（新松戸分館）



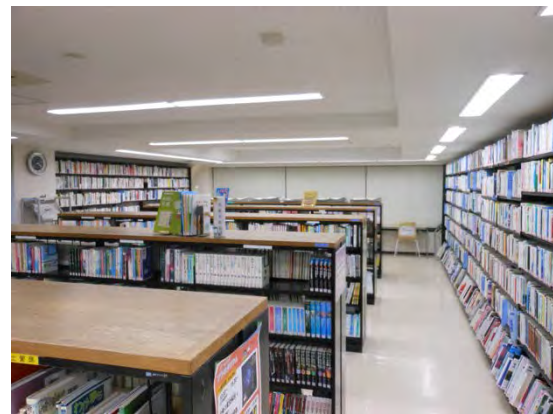
建物正面



分館入口



館内写真 (1)



館内写真 (2)



館内写真 (3)



館内写真 (4)

館内配置図（新松戸分館）
面積（延べ床）：154.39 m²



(5) 小金分館

築年数	40年			所在地	松戸市小金きよしヶ丘3丁目1番地1			
職員	非常勤4名			施設	小金市民センター			
面積(延べ床)	275.29㎡ (内書庫は34.76㎡)			設備	OPAC2台、インターネット用PC1台			
蔵書収容能力	29,700冊			座席数	33席			
項目\年	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2017
蔵書冊数※1	21,000	23,000	21,000	29,000	31,263	40,269	47,277	47,541
貸出冊数	78,000	61,000	58,000	145,000	149,403	194,232	173,461	172,586
回転率※2	3.7	2.7	2.8	5.0	4.8	4.8	3.7	3.6
登録者数	—	—	—	—	—	10,426	10,732	8,745
利用者数※3	—	—	—	—	—	50,944	49,437	49,203
一人あたり 平均貸出冊数※4	—	—	—	—	—	3.81	3.51	3.51

日本図書館協会「日本の図書館」及び松戸市立図書館「平成30年度図書館要覧」より作成

※1 2000年までは1,000冊単位で記載

※2 貸出冊数÷蔵書冊数(1冊の本が1年間で何回貸し出されたかを示す)

※3 1年あたり1冊以上の貸出がある登録者

※4 貸出冊数÷利用者数

周辺地図



周辺環境

小金分館は、最寄り駅の JR 北小金駅からはおよそ徒歩 10 分の距離にあります。周辺は、住宅地と商業地があり、小金北小学校がおよそ徒歩 6 分の距離にあります。住宅地は、およそ 4,256 世帯 8,597 名が在住し、最も多い年齢層は、40 歳代 1,370 名で次に 50 歳代 1,173 名、30 歳代 1,155 名です。

図書館の特徴

蔵書の分類からみると多い順に F 類 10,012 冊、9 類 8,309 冊、3 類 3,575 冊であり、最も貸出がある分類は多い順に F 類で次に 5 類、2 類です。郷土資料コーナーやおはなしの部屋、CD/DVD の所蔵があり、試聴コーナーがあります。

利用者の特徴

平成 29 年度における貸出実績のある実利用者数を年齢層別にみると、多い順に 40 歳代 985 名、70 歳代 888 名、60 歳代 878 名となっています。人口分布図と周辺環境とを併せて考えてみると、周辺の在住者が利用していることがわかります。

現在の利用状況と今後の展開

小金分館では、周辺住民のうち 50 歳代や 30 歳代の利用が少ない状況です。「望ましい基準」では、“多様な学習機会の提供”として、図書館が“講座、相談会、資料展示会等を主催し、または関係行政機関、学校、他の社会教育施設、民間の関係団体等と共催して多様な学習機会の提供に努める”と定められています。馬橋分館と和名ヶ谷分館と同様に 50 歳代、30 歳代へのサービスとして検討が必要です。

図書館の写真（小金分館）



建物正面



分館入口



館内写真（1）



館内写真（2）



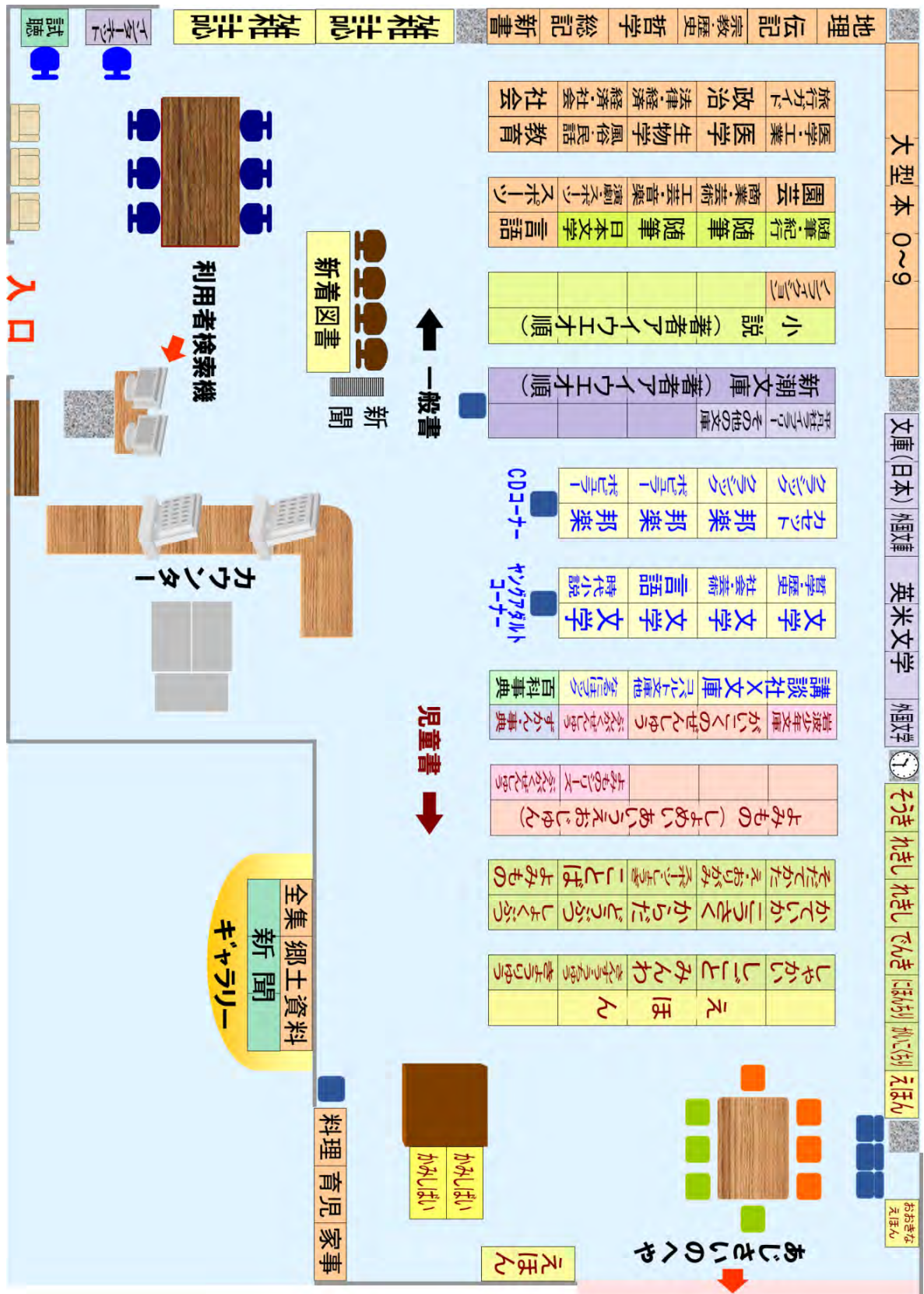
館内写真（3）



館内写真（4）

館内配置図（小金分館）

面積（延べ床）：275.29 ㎡



(6) 稔台分館

築年数	44年		所在地	松戸市稔台7丁目1番地5				
職員	非常勤2名		施設	稔台市民センター				
面積(延べ床)	122.56㎡		設備	OPAC2台				
蔵書収容能力	20,000冊		座席数	17席				
項目\年	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2017
蔵書冊数※1	18,000	20,000	23,000	19,000	17,663	18,092	19,451	20,302
貸出冊数	75,000	56,000	63,000	53,000	61,979	85,436	96,125	104,408
回転率※2	4.2	2.8	2.8	2.8	3.5	4.7	4.9	5.1
登録者数	—	—	—	—	—	6,651	6,709	5,489
利用者数※3	—	—	—	—	—	23,134	30,158	30,539
一人あたり 平均貸出冊数※4	—	—	—	—	—	3.69	3.19	3.42

日本図書館協会「日本の図書館」及び松戸市立図書館「平成30年度図書館要覧」より作成

※1 2000年までは1,000冊単位で記載

※2 貸出冊数÷蔵書冊数(1冊の本が1年間で何回貸し出されたかを示す)

※3 1年あたり1冊以上の貸出がある登録者

※4 貸出冊数÷利用者数

周辺地図



周辺環境

稔台分館は、新京成みのり台駅からはおよそ徒歩 5 分の距離にあります。周辺には住宅地と工業地があり、稔台小学校は徒歩 10 分の距離にあります。近隣は、松戸新田と稔台地域で合わせて 7,643 世帯 16,388 名が在住し、最も多い年齢層は、40 歳代 2,875 名で次に 50 歳代 2,160 名、30 歳代 2,052 名です。ただし、10 歳代未満～10 歳代は計 2,926 名です。

図書館の特徴

蔵書の分類からみると多い順に F 類 3,869 冊、9 類 1,914 冊、5 類 1,767 冊であり、最も貸出がある分類は多い順に F 類、5 類、社会 3 類です。

利用者の特徴

平成 29 年度における貸出実績のある実利用者数を年齢層別にみると、多い順に 40 歳代 673 名、70 歳代 504 名、30 歳代 472 名となっています。18 歳以下は、410 名です。人口分布図と周辺環境とを併せて考えてみると、周辺の在住者が利用していることがわかります。

現在の利用状況と今後の展開

稔台分館では、全体として貸出冊数は増加傾向にあります。ただし、周辺住民に 10 歳未満～10 歳代が多いものの、実利用者は少ない状況です。「望ましい基準」では“児童・青少年に対するサービス”について、「これからの図書館像」では“学校との連携・協力”について定められています。小金原分館、常盤平分館、矢切分館、東部分館、二十世紀が丘分館、八ヶ崎分館と同様に 10 歳未満～10 歳代へのサービスとして検討が必要です。

図書館の写真（稔台分館）



建物正面



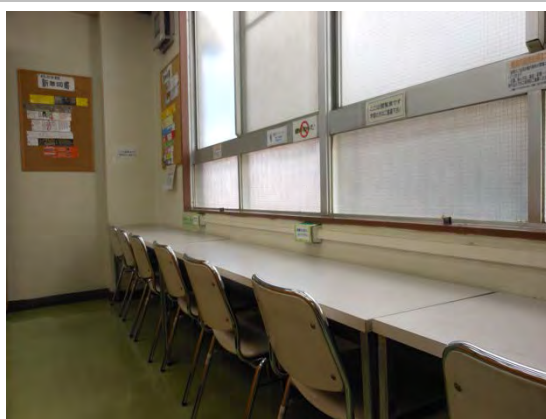
分館入口



館内写真 (1)



館内写真 (2)



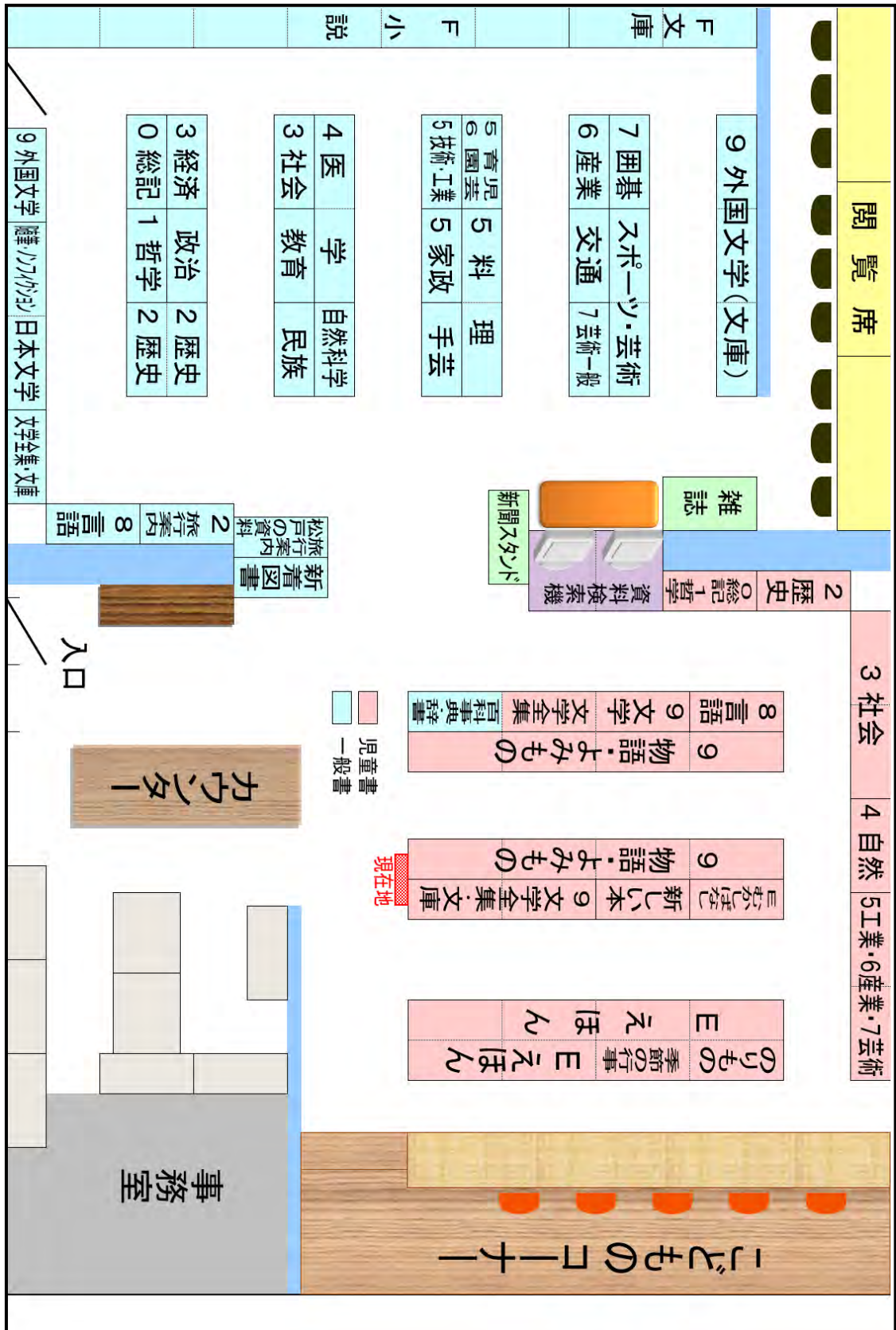
館内写真 (3)



館内写真 (4)

館内配置図 (稔台分館)

面積 (延べ床) : 122.56 m²



(7) 矢切分館

築年数	42年		所在地	松戸市上矢切 299 番地 1				
職員	非常勤 2 名		施設	総合福祉会館、 まつど市民生活サポートセンター				
面積（延べ床）	101.97 m ²		設備	OPAC 2 台				
蔵書収容能力	23,000 冊		座席数	19 席				
項目\年	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2017
蔵書冊数※1	21,000	20,000	22,000	20,000	17,408	18,129	19,163	19,785
貸出冊数	66,000	47,000	41,000	35,000	39,124	51,687	65,932	64,950
回転率※2	3.1	2.3	1.8	1.8	2.2	2.9	3.4	3.3
登録者数	—	—	—	—	—	4,436	4,402	3,527
利用者数※3	—	—	—	—	—	14,161	18,848	18,054
一人あたり 平均貸出冊数※4	—	—	—	—	—	3.65	3.50	3.60

日本図書館協会「日本の図書館」及び松戸市立図書館「平成 30 年度図書館要覧」より作成

※1 2000 年までは 1,000 冊単位で記載

※2 貸出冊数÷蔵書冊数（1 冊の本が 1 年間で何回貸し出されたかを示す）

※3 1 年あたり 1 冊以上の貸出がある登録者

※4 貸出冊数÷利用者数

周辺地図



周辺環境

矢切分館は、市川市との市境に近く、鉄道の最寄り駅から徒歩圏内にありません（JR・新京成松戸駅から京成バス矢切駅・国府台駅経由「市川駅」ゆきで「浅間台」下車徒歩1分）。周辺には住宅地と商業地があり、矢切小学校はおよそ徒歩15分の距離にあります。矢切分館は、総合福祉会館、まつど市民生活サポートセンターに併設しています。

近隣には上矢切、小山地域に4,619世帯10,170名が在住し、最も多い年齢層は、多い順に40歳代1,711名、50歳代1,349名、30歳代1,340名で、10歳未満～10歳代では計1,806名となっています。

図書館の特徴

蔵書の分類からみると多い順にF類4,677冊、9類1,775冊、5類1,614冊であり、最も貸出がある分類は多い順にF類、5類、9類です。

利用者の特徴

平成29年度における貸出実績のある実利用者数を年齢層別にみると、多い順に70歳代393名、40歳代359名、60歳代293名であり、18歳以下は277名となっています。人口分布図と周辺環境とを併せて考えてみると、周辺の在住者が利用していることがわかります。

現在の利用状況と今後の展開

矢切分館では、登録者数は減少傾向にありますが、実利用者数は増加傾向にあります。周辺住民に10歳未満～10歳代が多いものの、実利用者は少ない状況です。「望ましい基準」では“児童・青少年に対するサービス”と、「これからの図書館像」では“学校との連携・協力”について定められています。小金原分館、常盤平分館、稔台分館、東部分館、二十世紀が丘分館、八ヶ崎分館と同様に10歳未満～10歳代へのサービスとして検討が必要です。

図書館の写真（矢切分館）



建物正面



分館入口



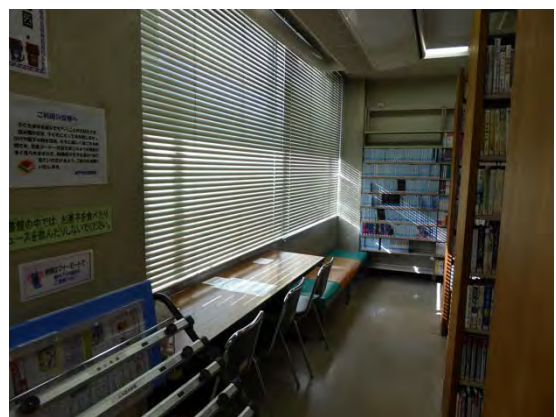
館内写真 (1)



館内写真 (2)



館内写真 (3)



館内写真 (4)

館内配置図（矢切分館）

面積（延べ床）：101.97㎡



(8) 馬橋分館

築年数	42年		所在地	松戸市西馬橋蔵元町177番地				
職員	非常勤2名		施設	馬橋市民センター				
面積(延べ床)	66.22㎡		設備	OPAC2台				
蔵書収容能力	17,000冊		座席数	8席				
項目\年	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2017
蔵書冊数※1	18,000	20,000	18,000	16,000	16,103	16,895	18,799	18,849
貸出冊数	98,000	44,000	76,000	69,000	64,740	78,843	89,178	139,830
回転率※2	5.4	2.2	4.2	4.3	4.0	4.7	4.7	7.4
登録者数	—	—	—	—	—	7,687	7,085	5,496
利用者数※3	—	—	—	—	—	21,233	25,147	30,170
一人あたり 平均貸出冊数※4	—	—	—	—	—	3.71	3.55	4.63

日本図書館協会「日本の図書館」及び松戸市立図書館「平成30年度図書館要覧」より作成

※1 2000年までは1,000冊単位で記載

※2 貸出冊数÷蔵書冊数(1冊の本が1年間で何回貸し出されたかを示す)

※3 1年あたり1冊以上の貸出がある登録者

※4 貸出冊数÷利用者数

周辺地図



周辺環境

馬橋分館は、馬橋駅からおよそ徒歩 9 分の距離にあり、周辺にはおよそ徒歩 6 分の距離に馬橋小学校があります。また、近隣には商業地と住宅地があり、西馬橋 1 丁目～5 丁目、西馬橋相川町、西馬橋蔵元町、西馬橋幸町、西馬橋広手町の地域でおよそ 7,599 世帯 15,017 名が在住し、最も多い年齢層は、40 歳代 2,323 名で、次に 30 歳代 2,124 名、50 歳代 1,922 名です。

図書館の特徴

蔵書の分類からみると多い順に F 類 3,568 冊、9 類 1,659 冊、5 類 1,537 冊であり、最も貸出がある分類は多い順に F 類次に 5 類、3 類です。

利用者の特徴

平成 29 年度における貸出実績のある実利用者数を年齢別にみると、多い順に 40 歳代 662 名、50 歳代 554 名、60 歳代 494 名となっています。人口分布図と周辺環境とを併せて考えてみると、周辺の在住者が利用していることがわかります。

現在の利用状況と今後の展開

馬橋分館では、30 歳代と 50 歳代が周辺住民に多いものの、実利用者としては多くない状況です。「望ましい基準」では“多様な学習機会の提供”について定められていることから、小金分館と和名ヶ谷分館と同様に 30 歳代、50 歳代へのサービスとして検討が必要です。

図書館の写真（馬橋分館）



建物正面



分館入口



館内写真（1）



館内写真（2）



館内写真（3）



館内写真（4）

館内配置図（馬橋分館）

面積（延べ床）：66.22㎡



(9) 古ヶ崎分館

築年数	42年		所在地	松戸市古ヶ崎4丁目3490番地				
職員	非常勤2名		施設	古ヶ崎市民センター				
面積(延べ床)	78.62㎡		設備	OPAC2台				
蔵書収容能力	16,500冊		座席数	7席				
項目\年	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2017
蔵書冊数※1	17,000	16,000	16,000	15,000	13,075	15,099	16,975	17,240
貸出冊数	70,000	41,000	44,000	44,000	50,541	63,971	68,170	70,582
回転率※2	4.1	2.6	2.8	2.9	3.9	4.2	4.0	4.1
登録者数	—	—	—	—	—	4,686	4,731	3,757
利用者数※3	—	—	—	—	—	16,710	20,128	20,488
一人あたり 平均貸出冊数※4	—	—	—	—	—	3.83	3.39	3.45

日本図書館協会「日本の図書館」及び松戸市立図書館「平成30年度図書館要覧」より作成

※1 2000年までは1,000冊単位で記載

※2 貸出冊数÷蔵書冊数(1冊の本が1年間で何回貸し出されたかを示す)

※3 1年あたり1冊以上の貸出がある登録者

※4 貸出冊数÷利用者数

周辺地図



周辺環境

古ヶ崎分館は、JR 北松戸駅からおおよそ徒歩 20 分の距離にあります。周辺には、住宅地と工業団地があり、古ヶ崎小学校と古ヶ崎保育所はおおよそ徒歩 7 分の距離にあります。近隣には古ヶ崎 1～4 丁目と栄町 1～8 丁目地域に、おおよそ 9,248 世帯 19,633 名が在住し、最も多い年齢層は 40 歳代 3,309 名で、次に 70 歳代 3,157 名、50 歳代 2,356 名です。

図書館の特徴

蔵書の分類からみると多い順に F 類 4,079 冊、5 類 1,369 冊、9 類 1,144 冊であり、最も貸出がある分類は多い順に F 類で次に 9 類、5 類です。

利用者の特徴

平成 29 年度における貸出実績のある実利用者数を年齢層別にみると、多い順に 40 歳代 365 名、70 歳代 361 名、60 歳代 281 名となっています。人口分布図と周辺環境とを併せて考えてみると、周辺の在住者が利用していることがわかります。

現在の利用状況と今後の展開

古ヶ崎分館では、周辺住民と実利用者の年代がほぼ一致しています。ただし、工業団地が近隣にあることから、周辺住民でなくても通勤者の利用も見込むことができると考えます。「これからの図書館像」では、“課題解決支援機能の充実”としてビジネス支援サービスについて言及されており、地場産業と図書館の連携についても言及されています。工業団地の在勤者へのサービスとして検討が必要です。

図書館の写真（古ヶ崎分館）



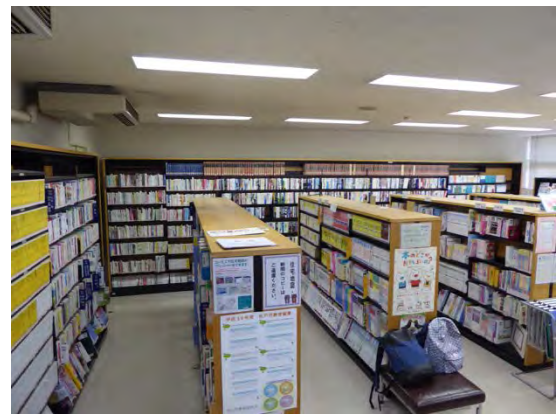
建物正面



分館入口



館内写真 (1)



館内写真 (2)



館内写真 (3)



館内写真 (4)

(10) 五香分館

築年数	41年		所在地	松戸市五香2丁目35番地5				
職員	非常勤2名		併設	五香市民センター				
面積(延べ床)	68.50㎡		設備	OPAC 2台				
蔵書収容能力	14,600冊		座席数	5席				
項目\年	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2017
蔵書冊数※1	18,000	20,000	21,000	19,000	17,909	18,234	15,806	16,862
貸出冊数	69,000	39,000	52,000	52,000	47,893	69,526	80,518	90,757
回転率※2	3.8	2.0	2.5	2.7	2.7	3.8	5.1	5.4
登録者数	—	—	—	—	—	4,726	4,635	3,758
利用者数※3	—	—	—	—	—	18,031	24,136	25,783
一人あたり 平均貸出冊数※4	—	—	—	—	—	3.86	3.34	3.52

日本図書館協会「日本の図書館」及び松戸市立図書館「平成30年度図書館要覧」より作成

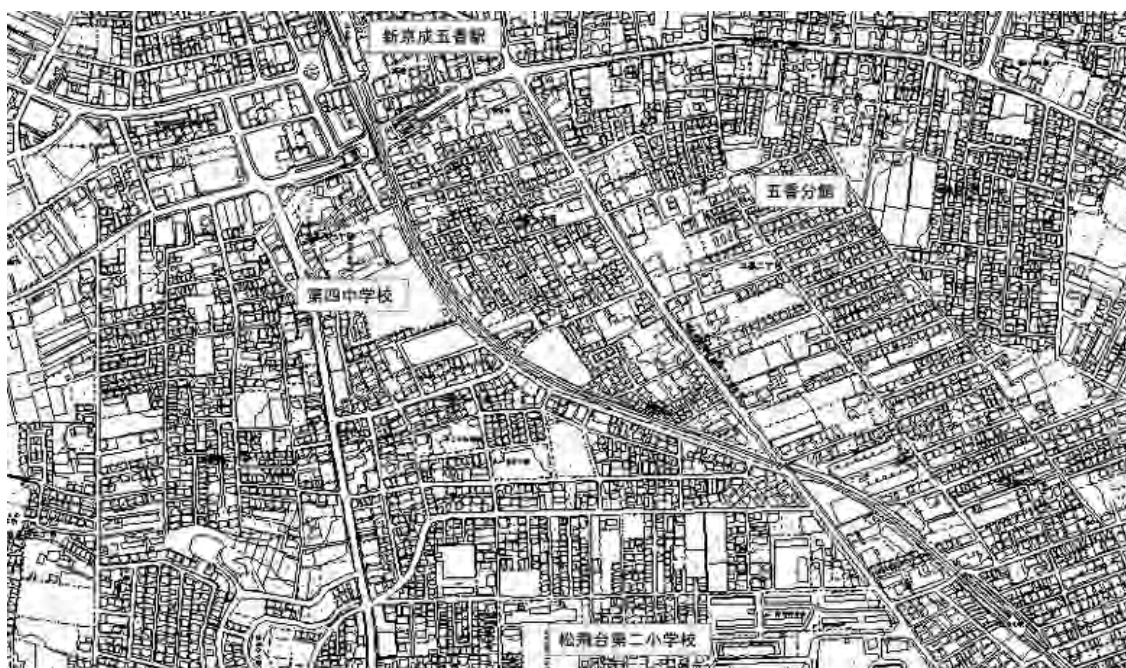
※1 2000年までは1,000冊単位で記載

※2 貸出冊数÷蔵書冊数(1冊の本が1年間で何回貸し出されたかを示す)

※3 1年あたり1冊以上の貸出がある登録者

※4 貸出冊数÷利用者数

周辺地図



周辺環境

五香分館は、新京成五香駅からおよそ徒歩 12 分の距離にあります。周辺には、第四中学校がおよそ徒歩 10 分、高木第二小学校はおよそ徒歩 10 分、松飛台第二小学校はおよそ徒歩 12 分の距離にあります。近隣には、五香 1 丁目～8 丁目地域におよそ 5,282 世帯 12,095 名が在住し、最も多い年齢層は 40 歳代 1,999 名で、次に 50 歳代 1,557 名、70 歳代 1,486 名です。

図書館の特徴

蔵書の分類からみると多い順に F 類 4,222 冊、9 類 1,423 冊、5 類 1,269 冊であり、最も貸出がある分類は多い順に F 類で次に 5 類、9 類です。

利用者の特徴

平成 29 年度における貸出実績のある実利用者数を年齢層別にみると、多い順に 40 歳代 460 名、70 歳代 453 名、60 歳代 417 名となっています。人口分布図と周辺環境とを併せて考えてみると、周辺の在住者が利用していることがわかります。

現在の利用状況と今後の展開

五香分館では、周辺住民と実利用者の年代はほぼ一致しています。周辺住民の中の 50 歳代の利用がやや少なく、実利用者には 70 歳代と 60 歳代が多い状況です。「望ましい基準」では、“利用者に対応したサービス”として、“高齢者に対するサービス”について“大活字本、録音資料等の整備・提供、図書館利用の際の介助、図書館資料等の代読サービスの実施”と定められています。六実分館と八柱分館、東部分館と同様に、60 歳代、70 歳代へのサービスとして検討が必要です。

図書館の写真（五香分館）



建物正面



分館入口



館内写真（1）



館内写真（2）



館内写真（3）



館内写真（4）

(11) 明分館

築年数	40年		所在地	松戸市上本郷 2676 番地 6				
職員	非常勤 2 名		施設	明市民センター内				
面積（延べ床）	96.75 m ²		設備	OPAC 2 台				
蔵書収容能力	22,000 冊		座席数	11 席				
項目\年	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2017
蔵書冊数※1	21,000	24,000	25,000	24,000	20,978	21,484	22,884	22,725
貸出冊数	90,000	63,000	77,000	70,000	73,415	99,867	113,292	116,317
回転率※2	4.3	2.6	3.1	2.9	3.5	4.6	5.0	5.1
登録者数	—	—	—	—	—	7,514	7,196	5,639
利用者数※3	—	—	—	—	—	26,441	34,804	36,217
一人あたり 平均貸出冊数※4	—	—	—	—	—	3.78	3.26	3.21

日本図書館協会「日本の図書館」及び松戸市立図書館「平成 30 年度図書館要覧」より作成

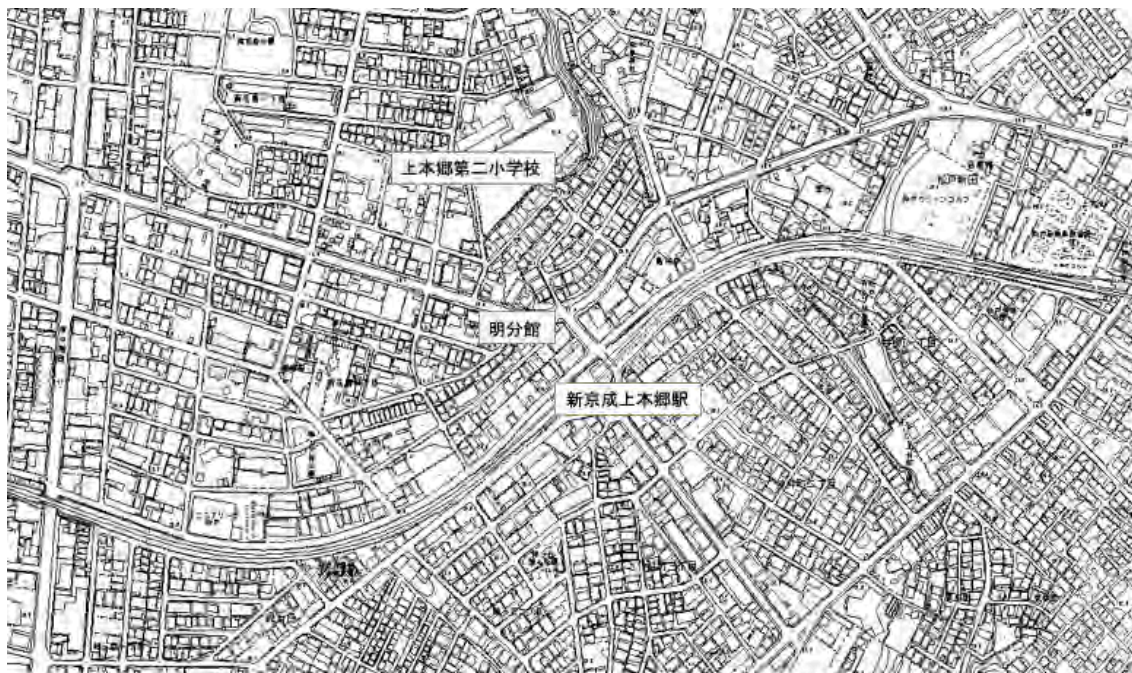
※1 2000 年までは 1,000 冊単位で記載

※2 貸出冊数÷蔵書冊数（1 冊の本が 1 年間で何回貸し出されたかを示す）

※3 1 年あたり 1 冊以上の貸出がある登録者

※4 貸出冊数÷利用者数

周辺地図



周辺環境

明分館は、新京成上本郷駅から徒歩 1 分の距離にあり、周辺は住宅地で、上本郷第二小学校が徒歩 5 分の距離にあります。近隣には、上本郷、南花島、仲井町地域におよそ 10,024 世帯 19,714 名が在住し、最も多い年齢層は 40 歳代 1,149 名で、次に 30 歳代 1,039 名、20 歳代 952 名です。

図書館の特徴

蔵書の分類からみると多い順に F 類 5,884 冊、9 類 2,528 冊、5 類 1,424 冊であり、最も貸出がある分類は多い順に F 類で次に 5 類、3 類です。

利用者の特徴

平成 29 年度における貸出実績のある実利用者数を年齢層別にみると、多い順に 40 歳代 712 名、70 歳代 494 名、60 歳代 474 名となっています。人口分布図と周辺環境とを併せて考えてみると、周辺の在住者が利用していることがわかります。

現在の利用状況と今後の展開

明分館では、周辺に 30 歳代、20 歳代が多く居住していますが、あまり利用されていないことがわかります。「望ましい基準」では、“地域の課題に対応したサービス”について言及されており、“就職・転職、起業、職業能力開発、日常の仕事等に関する資料及び情報の整備・提供”と定められていることから、新松戸分館と馬橋東分館、小金北分館と同様に 30 歳代、20 歳代へのサービスとして検討が必要です。

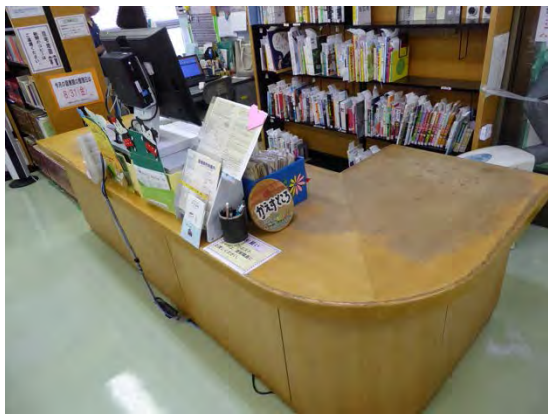
図書館の写真（明分館）



建物側面



分館入口



館内写真 (1)



館内写真 (2)



館内写真 (3)



館内写真 (4)

館内配置図（明分館）

面積（延べ床）：96.75 m²



(12) 六実分館

築年数	39年		所在地	松戸市六高台3丁目71番地				
職員	非常勤2名		施設	六実市民センター				
面積 (延べ床)	146.45㎡		設備	OPAC2台				
蔵書収容能力	31,250冊		座席数	29席				
項目\年	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2017
蔵書冊数※1	20,000	21,000	22,000	21,000	21,018	34,036	19,815	19,893
貸出冊数	97,000	80,000	83,000	96,000	90,854	88,839	117,728	100,367
回転率※2	4.9	3.8	3.8	4.6	4.3	2.6	5.9	5.0
登録者数	—	—	—	—	—	10,288	9,755	7,370
利用者数※3	—	—	—	—	—	29,930	35,146	33,587
一人あたり 平均貸出冊数※4	—	—	—	—	—	2.97	3.35	2.99

日本図書館協会「日本の図書館」及び松戸市立図書館「平成30年度図書館要覧」より作成

※1 2000年までは1,000冊単位で記載

※2 貸出冊数÷蔵書冊数（1冊の本が1年間で何回貸し出されたかを示す）

※3 1年あたり1冊以上の貸出がある登録者

※4 貸出冊数÷利用者数

周辺地図



周辺環境

六実分館は、東武アーバンパークライン六実駅から徒歩 15 分の距離にあります。周辺には商業地と住宅地があり、六実小学校はおよそ徒歩 4 分、六実第三小学校はおよそ徒歩 7 分の距離にあります。近隣には、六高台 1 丁目～9 丁目地域はおよそ 6,631 世帯 15,803 名が在住し、最も多い年齢層は、50 歳代 2,674 名で次に 40 歳代 2,265 名、60 歳代 2,217 名です。

図書館の特徴

蔵書の分類からみると多い順に F 類 3,286 冊、5 類 1,747 冊、3 類 1,505 冊であり、最も貸出がある分類は、多い順に F 類、5 類、3 類です。

利用者の特徴

平成 29 年度における貸出実績のある実利用者数を年齢層別にみると、多い順に 60 歳代 567 名、70 歳代 563 名、40 歳代 555 名となっています。人口分布図と周辺環境とを併せて考えてみると、周辺の在住者が利用していることがわかります。

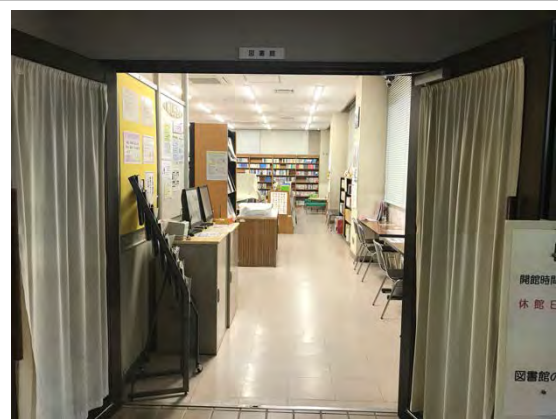
現在の利用状況と今後の展開

六実分館では、周辺住民と実利用者の年代はほぼ一致している状況です。また、周辺住民の中では 50 歳代の利用がやや少なく、実利用者には 70 歳代と 60 歳代が多い状況です。「望ましい基準」では“高齢者に対するサービス”について定められていることから、五香分館と東部分館、八柱分館と 60 歳代、70 歳代へのサービスとして検討が必要です。

図書館の写真（六実分館）



建物正面



分館入口



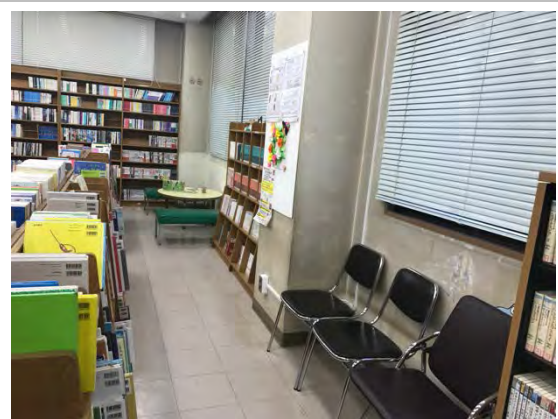
館内写真（1）



館内写真（2）



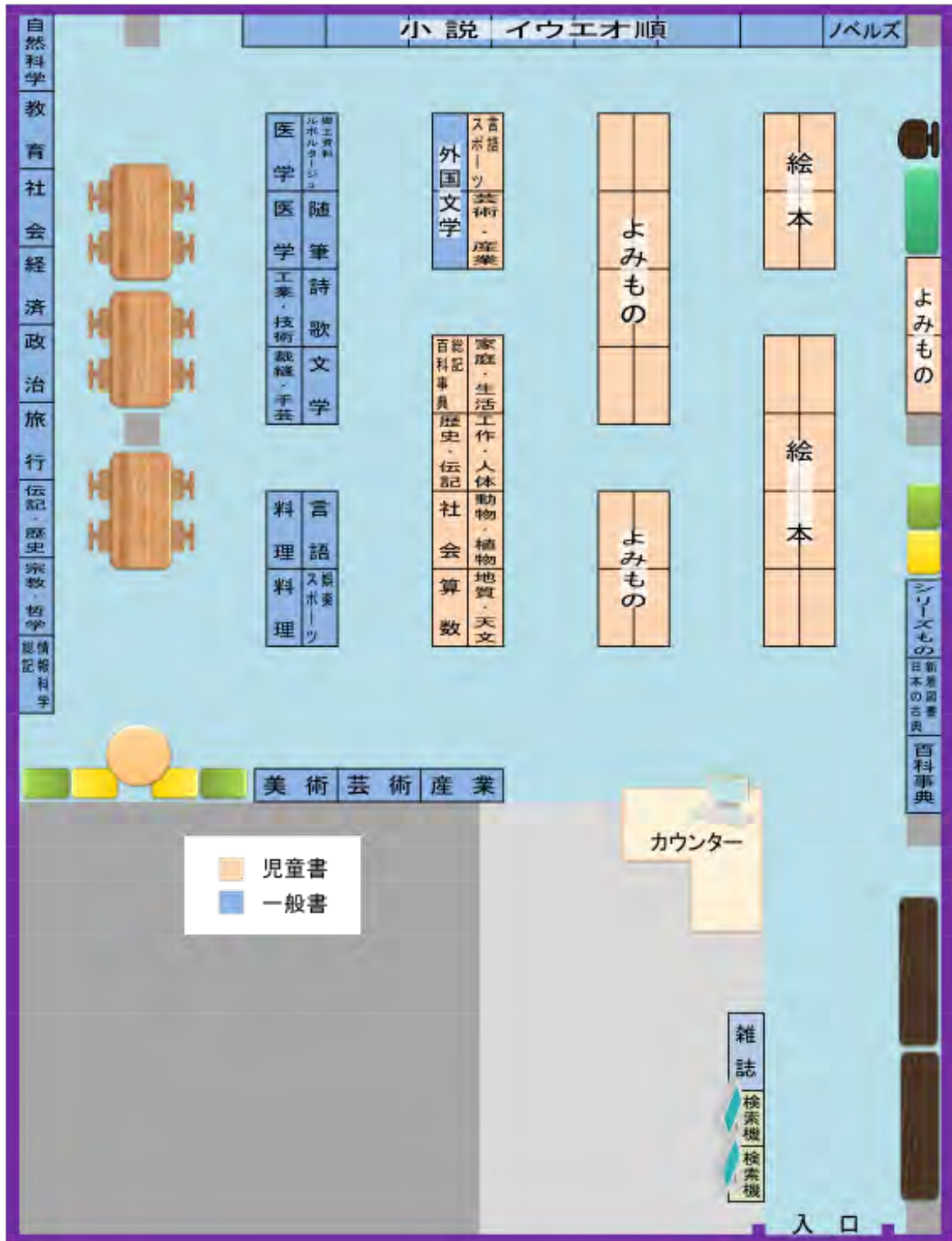
館内写真（3）



館内写真（4）

館内配置図（六実分館）

面積（延べ床）：146.45 m²



(13) 東部分館

築年数	38年		所在地	松戸市高塚新田 427 番地				
職員	非常勤 2 名		併設	東部クリーンセンター・東部スポーツパーク				
面積 (延べ床)	123.00 m ²		設備	OPAC 2 台				
蔵書収容能力	16,500		座席数	26 席				
項目\年	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2017
蔵書冊数※1	18,000	21,000	18,000	15,000	15,068	18,346	17,277	17,205
貸出冊数	72,000	32,000	35,000	37,000	47,803	78,199	116,425	65,221
回転率※2	4.0	1.5	2.0	2.5	3.2	4.3	6.7	3.8
登録者数	—	—	—	—	—	5,776	6,764	5,953
利用者数※3	—	—	—	—	—	18,280	21,297	25,310
一人あたり 平均貸出冊数※4	—	—	—	—	—	4.28	5.47	2.58

日本図書館協会「日本の図書館」及び松戸市立図書館「平成 30 年度図書館要覧」より作成

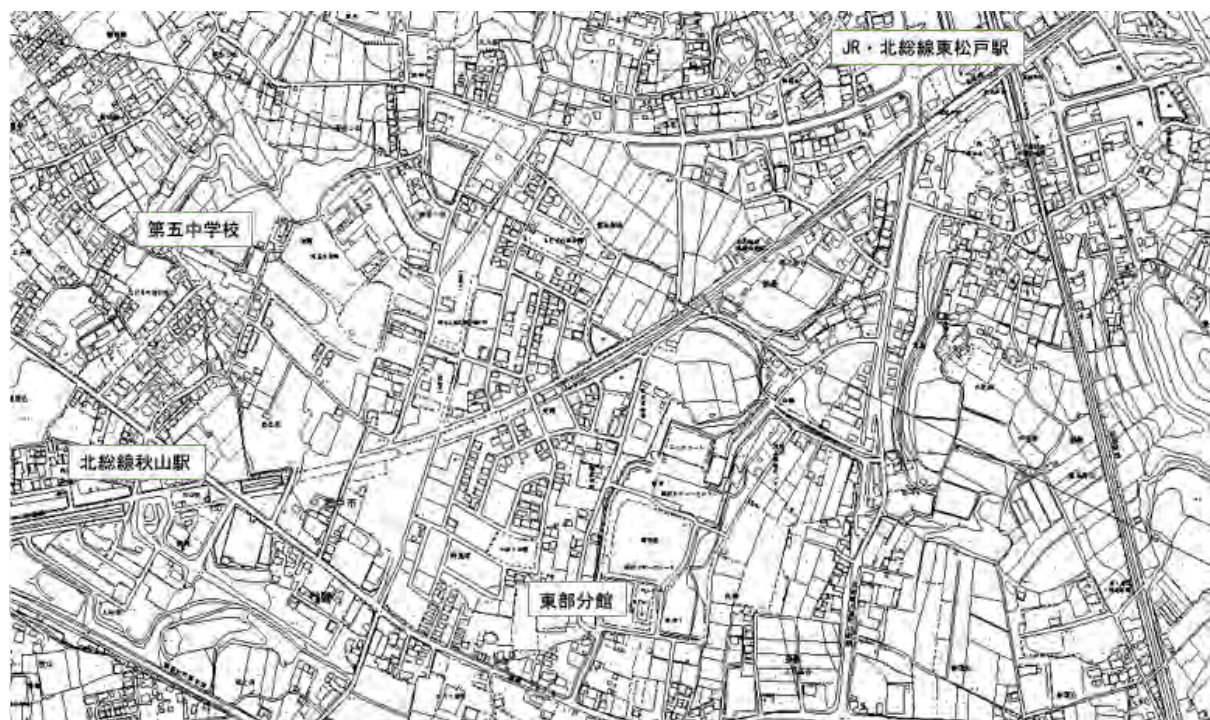
※1 2000 年までは 1,000 冊単位で記載

※2 貸出冊数÷蔵書冊数 (1 冊の本が 1 年間で何回貸し出されたかを示す)

※3 1 年あたり 1 冊以上の貸出がある登録者

※4 貸出冊数÷利用者数

周辺地図



周辺環境

東部分館は、JR・北総線東松戸駅からおよそ徒歩 15 分、また、北総線秋山駅からおよそ徒歩 15 分の距離にあります。周辺は住宅地で、第五中学校はおよそ徒歩 13 分の距離にあります。東部分館は、東部クリーンセンター・東部スポーツパークに併設しており、近隣には、秋山、高塚新田地域でおよそ 6,918 世帯 15,632 名が在住し、最も多い年齢層は、40 歳代 2,734 名で、次に 50 歳代 1,884 名、70 歳代 1,860 名、10 歳未満～10 歳代は計 3,040 名です。

図書館の特徴

蔵書の分類からみると多い順に F 類 2,958 冊、5 類 1,451 冊、3 類 1,279 冊であり、最も貸出がある分類は多い順に F 類、5 類、3 類である。

利用者の特徴

平成 29 年度における貸出実績のある実利用者数を年齢層別にみると、多い順に 40 歳代 790 名、30 歳代 573 名、60 歳代 267 名、18 歳以下は 548 名となっています。人口分布図と周辺環境とを併せて考えてみると、周辺の在住者、在勤者が利用していることがわかります。

現在の利用状況と今後の展開

東部分館では、周辺住民に 10 歳未満～10 歳代が多いが、実利用者は少ない状況です。「望ましい基準」では“児童・青少年に対するサービス”と、「これからの図書館像」では“学校との連携・協力”について定められています。小金原分館、常盤平分館、稔台分館、矢切分館、二十世紀が丘分館、八ヶ崎分館と同様に 10 歳未満～10 歳代へのサービスとして検討が必要です。

また、周辺住民に 70 歳代が多いが、実利用者は少ない状況です。「望ましい基準」では、“利用者に対応したサービス”として、“高齢者に対するサービス”について“大活字本、録音資料等の整備・提供、図書館利用の際の介助、図書館資料等の代読サービスの実施”として定められています。五香分館と六実分館、八柱分館と同様に、70 歳代へのサービスとして検討が必要です。

図書館の写真（東部分館）



建物正面



分館入口



館内写真 (1)



館内写真 (2)



館内写真 (3)



館内写真 (4)

(14) 馬橋東分館

築年数	36年		所在地	松戸市馬橋 1854 番地 3				
職員	非常勤 2 名		施設	馬橋東市民センター				
面積 (延べ床)	96.31 m ²		設備	OPAC2 台				
蔵書収容能力	14,000 冊		座席数	13 席				
項目\年	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2017
蔵書冊数※1	17,000	21,000	19,000	18,000	13,947	15,454	15,730	15,604
貸出冊数	133,000	71,000	60,000	63,000	58,757	94,817	73,169	80,700
回転率※2	7.8	3.4	3.1	3.5	4.2	6.1	4.7	5.2
登録者数	—	—	—	—	—	7,009	6,551	5,018
利用者数※3	—	—	—	—	—	24,520	24,681	10,996
一人あたり 平均貸出冊数※4	—	—	—	—	—	3.87	2.96	7.34

日本図書館協会「日本の図書館」及び松戸市立図書館「平成 30 年度図書館要覧」より作成

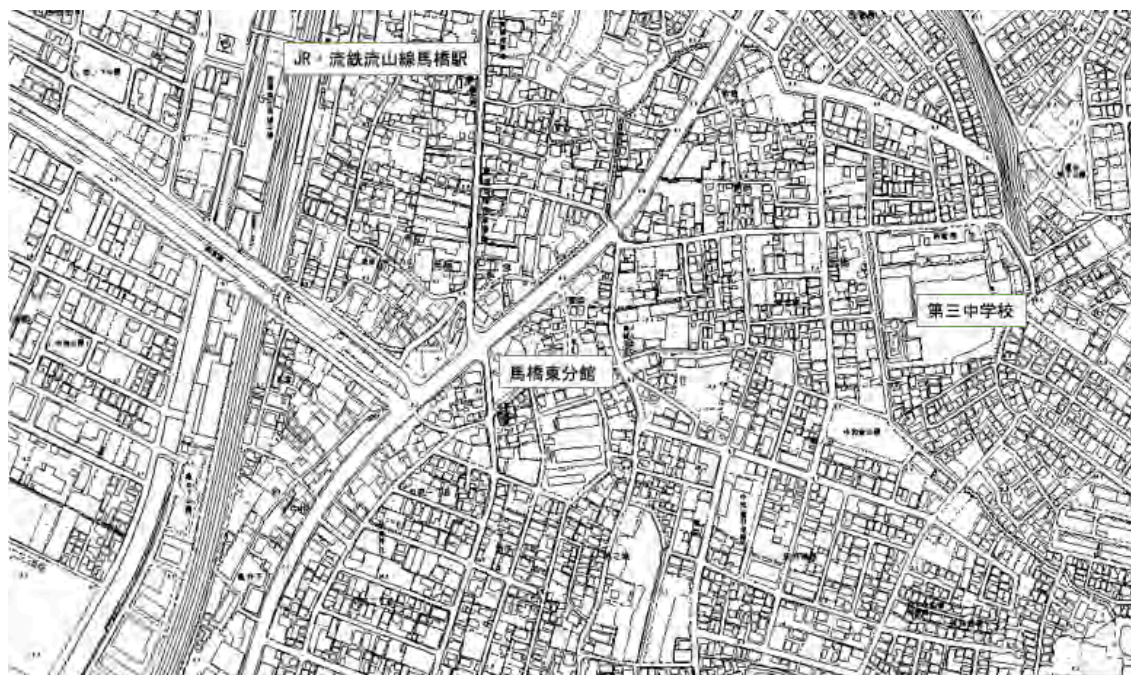
※1 2000 年までは 1,000 冊単位で記載

※2 貸出冊数÷蔵書冊数 (1 冊の本が 1 年間で何回貸し出されたかを示す)

※3 1 年あたり 1 冊以上の貸出がある登録者

※4 貸出冊数÷利用者数

周辺地図



周辺環境

馬橋東分館は、JR・流鉄流山線馬橋駅からおおよそ徒歩 8 分の距離にあります。周辺は住宅地や商業地であり、第三中学校がおおよそ徒歩 8 分の距離にあります。近隣には、馬橋、中根、新作地域におおよそ 6,403 世帯 11,723 名が在住し、最も多い年齢層は 40 歳代 1,905 名で、次に 30 歳代 1,742 名 20 歳代 1,670 名です。

図書館の特徴

蔵書の分類からみると多い順に F 類 4,455 冊、5 類 1,180 冊、9 類 1,050 冊であり、最も貸出がある分類は多い順に F 類、5 類、3 類です。

利用者の特徴

平成 29 年度における貸出実績のある実利用者を年齢層別にみると、多い順に 40 歳代 351 名、70 歳代 325 名、30 歳代 257 名となっています。人口分布図と周辺環境とを併せて考えてみると、周辺の在住者が利用していることがわかります。

現在の利用状況と今後の展開

馬橋東分館では、20 歳代が多く居住しているものの、あまり利用されていないことがわかります。「望ましい基準」では“地域の課題に対応したサービス”のうち、“就職・転職、起業、職業能力開発、日常の仕事等に関する資料及び情報の整備・提供”と定められています。明分館と新松戸分館、小金北分館と同様に 20 歳代へのサービスとして検討が必要と考えます。

図書館の写真（馬橋東分館）



建物正面



分館入口



館内写真 (1)



館内写真 (2)



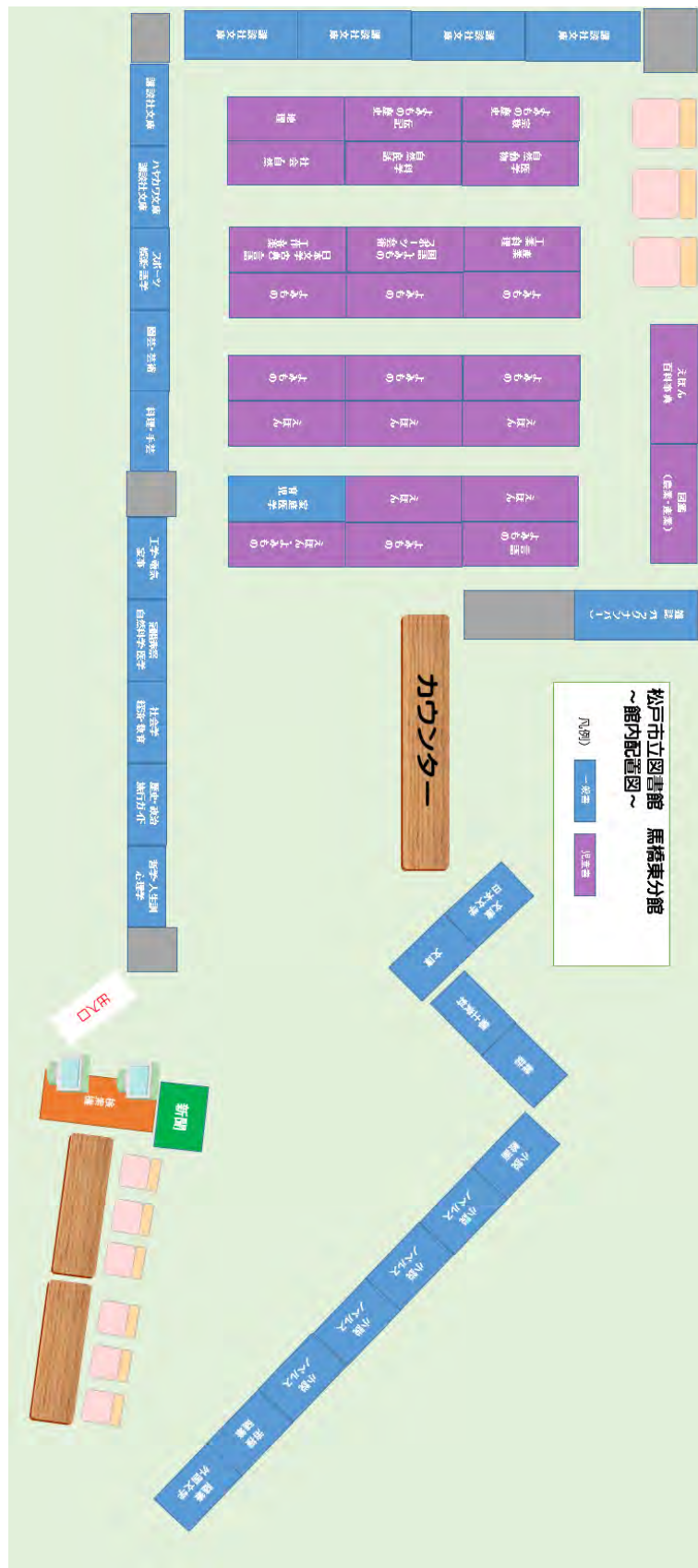
館内写真 (3)



館内写真 (4)

館内配置図（馬橋東分館）

面積（延べ床）：96.31㎡



(15) 小金北分館

築年数	35年		所在地	松戸市中金杉2丁目159番地2				
職員	非常勤2名		施設	小金北市民センター				
面積(延べ床)	79.89㎡		設備	OPAC 2台				
蔵書収容能力	12,500冊		座席数	6席				
項目\年	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2017
蔵書冊数※1	15,000	20,000	18,000	16,000	14,643	14,815	16,429	16,362
貸出冊数	106,000	65,000	53,000	51,000	57,925	71,901	66,422	69,753
回転率※2	7.1	3.3	2.9	3.2	4.0	4.9	4.0	4.3
登録者数	—	—	—	—	—	6,063	5,741	4,382
利用者数※3	—	—	—	—	—	20,477	21,478	23,406
一人あたり 平均貸出冊数※4	—	—	—	—	—	3.51	3.09	2.98

日本図書館協会「日本の図書館」及び松戸市立図書館「平成30年度図書館要覧」より作成

※1 2000年までは1,000冊単位で記載

※2 貸出冊数÷蔵書冊数(1冊の本が1年間で何回貸し出されたかを示す)

※3 1年あたり1冊以上の貸出がある登録者

※4 貸出冊数÷利用者数

周辺地図



周辺環境

小金北分館は、JR 北小金駅からおよそ徒歩 16 分の距離にあります。周辺は住宅地で、小金北小学校と殿平賀小学校がおよそ徒歩 5 分の距離にあります。近隣には、平賀、殿平賀地域に 2,382 世帯 5,149 名が在住し、最も多い年齢層は、40 歳代 836 名、50 歳代 720 名、60 歳代 664 名です。

図書館の特徴

蔵書の分類からみると多い順に F 類 3,591 冊、9 類 1,476 冊、5 類 1,454 冊であり、最も貸出がある分類は多い順に F 類、5 類、3 類です。

利用者の特徴

平成 29 年度における貸出実績のある実利用者数を年齢層別にみると、多い順に 70 歳代 379 名、40 歳代 362 名、60 歳代 310 名となっています。人口分布図と周辺環境とを併せて考えてみると、周辺の在住者が利用していることがわかります。

現在の利用状況と今後の展開

小金北分館では、周辺住民と実利用者の年代はほぼ一致しています。ただし、周辺住民のデータが一部不足しているため、その点は留意が必要になります。登録者数や貸出冊数は減少傾向にあります。利用者数は増加傾向にある状況です。分館調査のインタビューから、20 歳代の利用は少ないことが明らかになっています。明分館と新松戸分館、馬橋東分館と同様に、20 歳代へのサービスの検討が必要です。

図書館の写真（小金北分館）



建物正面



分館入口



館内写真 (1)



館内写真 (2)



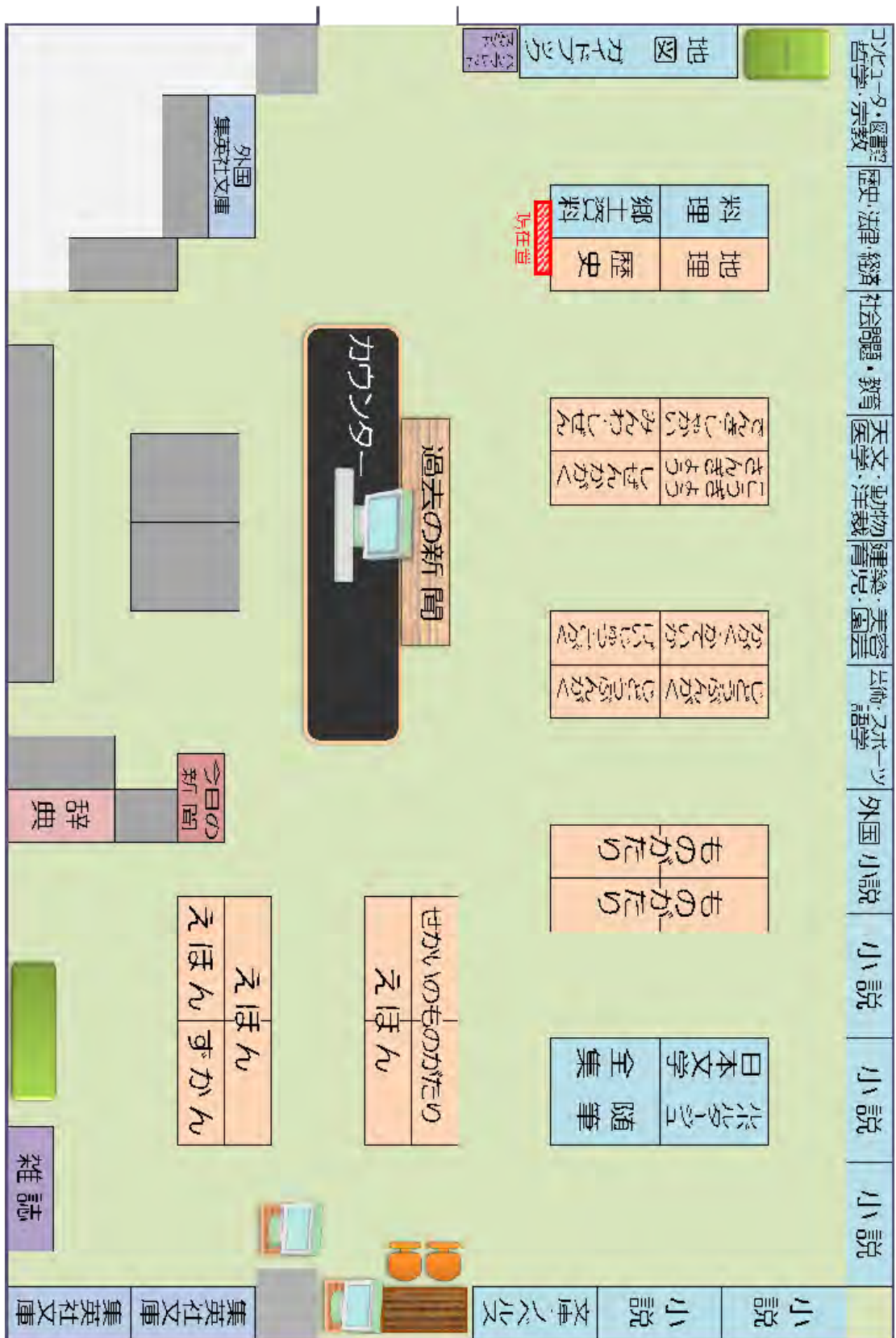
館内写真 (3)



館内写真 (4)

館内配置図（小金北分館）

面積（延べ床）：79.89 ㎡



(16) 松飛台分館

築年数	35年		所在地	松戸市松飛台 210番地 2				
職員	非常勤 2名		施設	松飛台市民センター				
面積(延べ床)	79.65㎡		設備	OPAC 2台				
蔵書収容能力	13,000冊		座席数	13席				
項目\年	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2017
蔵書冊数※1	14,000	21,000	17,000	15,000	13,245	14,425	14,290	15,232
貸出冊数	70,000	48,000	34,000	39,000	40,873	58,755	58,975	64,972
回転率※2	5.0	2.3	2.0	2.6	3.1	4.1	4.1	4.3
登録者数	—	—	—	—	—	4,382	4,298	3,545
利用者数※3	—	—	—	—	—	13,840	17,819	19,064
一人あたり 平均貸出冊数※4	—	—	—	—	—	4.25	3.31	3.41

日本図書館協会「日本の図書館」及び松戸市立図書館「平成30年度図書館要覧」より作成

※1 2000年までは1,000冊単位で記載

※2 貸出冊数÷蔵書冊数(1冊の本が1年間で何回貸し出されたかを示す)

※3 1年あたり1冊以上の貸出がある登録者

※4 貸出冊数÷利用者数

周辺地図



周辺環境

松飛台分館は、新京成くぬぎ山駅からおよそ徒歩 17 分の距離にあります。周辺は住宅地、工業地、商業地があり、また、松飛台小学校がおよそ徒歩 7 分、牧野原中学校はおよそ徒歩 14 分の距離にあります。近隣には、およそ 7,636 世帯 17,406 名が在住し、最も多い年齢層は、40 歳代 2,943 名で、次に 70 歳代 2,363 名、50 歳代 2,170 名、10 歳未満～10 歳代までは計 3,226 名です。

図書館の特徴

蔵書の分類からみると多い順に F 類 2,463 冊、9 類 1,762 冊、5 類 1,522 冊であり、最も貸出がある分類は多い順に F 類、5 類、9 類です。

利用者の特徴

平成 29 年度における貸出実績のある実利用者数を年齢層別にみると、多い順に 40 歳代 397 名、70 歳代 366 名、60 歳代 292 名、また 18 歳以下は 270 名となっています。人口分布図と周辺環境とを併せて考えてみると、周辺の在住者が利用していることがわかります。

現在の利用状況と今後の展開

松飛台分館では、周辺住民に 10 歳未満～10 歳代が多いが、実利用者は少ない状況です。「望ましい基準」では“児童・青少年に対するサービス”と、「これからの図書館像」では“学校との連携・協力”について定められています。小金原分館、常盤平分館、稔台分館、矢切分館、東部分館、二十世紀が丘分館、八ヶ崎分館と同様に 10 歳未満～10 歳代へのサービスとして検討が必要です。

また、工業地と商業地が隣接しているため、周辺住民でなくとも通勤者の利用も見込むことができると思います。「これからの図書館像」では、“課題解決支援機能の充実”としてビジネス支援サービスについて言及されており、地場産業と図書館の連携についても言及されています。工業地や商業地の在勤者へのサービスとして検討が必要です。

図書館の写真（松飛台分館）



建物正面



分館入口



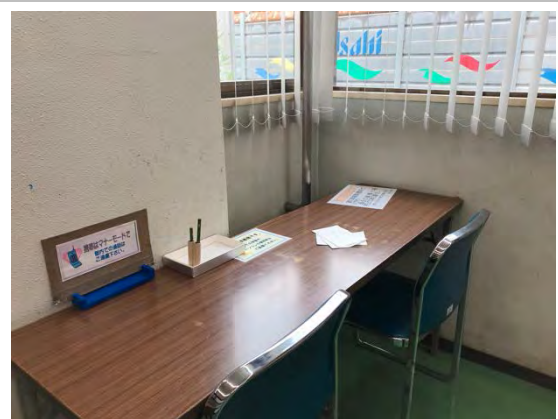
館内写真 (1)



館内写真 (2)



館内写真 (3)



館内写真 (4)

(17) 二十世紀が丘分館

築年数	33年		所在地	松戸市二十世紀が丘中松町2番地				
職員	非常勤2名		施設	二十世紀が丘市民センター				
面積(延べ床)	90.03㎡		設備	OPAC 2台				
蔵書収容能力	13,500冊		座席数	12席				
項目\年	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2017
蔵書冊数※1	—	18,000	20,000	18,000	14,380	15,883	15,532	15,614
貸出冊数	—	68,000	65,000	55,000	56,794	74,763	74,564	70,084
回転率※2	—	3.8	3.2	3.1	3.9	4.7	4.8	4.5
登録者数	—	—	—	—	—	5,747	5,373	4,045
利用者数※3	—	—	—	—	—	20,668	18,288	20,634
一人あたり 平均貸出冊数※4	—	—	—	—	—	3.62	4.08	3.40

日本図書館協会「日本の図書館」及び松戸市立図書館「平成30年度図書館要覧」より作成

※1 2000年までは1,000冊単位で記載

※2 貸出冊数÷蔵書冊数(1冊の本が1年間で何回貸し出されたかを示す)

※3 1年あたり1冊以上の貸出がある登録者

※4 貸出冊数÷利用者数

周辺地図



周辺環境

二十世紀が丘分館は、北総線北国分駅からおよそ徒歩 14 分の距離にあります。周辺は商業地と住宅地があり、柿ノ木台小学校がおよそ徒歩 6 分の距離にあります。近隣には、二十世紀が丘柿の木町、二十世紀が丘萩町、二十世紀が丘美野里町、二十世紀が丘中松町、二十世紀が丘丸山町、二十世紀が丘戸山町、二十世紀が丘梨元町、大橋地域に、およそ 4,409 世帯 9,803 名が在住し、最も多い年齢層は、40 歳代 1,466 名で、次に 70 歳代 1,421 名、50 歳代 1,227 名、10 歳未満～10 歳代は計 1,544 名です。

図書館の特徴

蔵書の分類からみると多い順に F 類 2,488 冊、9 類 1,607 冊、5 類 1,272 冊であり、最も貸出がある分類は多い順に F 類、5 類、9 類です。

利用者の特徴

平成 29 年度における貸出実績のある実利用者数を年齢層別にみると、多い順に 40 歳代 455 名、70 歳代 311 名、60 歳代 304 名、18 歳以下は 329 名となっています。人口分布図と周辺環境とを併せて考えてみると、周辺の在住者が利用していることがわかります。

現在の利用状況と今後の展開

二十世紀が丘分館では、周辺住民に 10 歳未満～10 歳代が多いが、実利用者は少ない状況です。近隣に小学校があるため、児童生徒が利用しやすい場所に位置しています。「望ましい基準」では“児童・青少年に対するサービス”と、「これからの図書館像」では“学校との連携・協力”について定められています。小金原分館、常盤平分館、稔台分館、矢切分館、東部分館、松飛台分館、八ヶ崎分館と同様に 10 歳未満～10 歳代へのサービスとして検討が必要です。

図書館の写真（二十世紀が丘分館）



建物正面



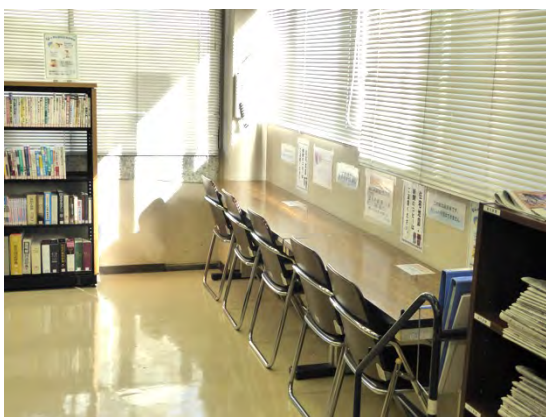
分館入口



館内写真 (1)



館内写真 (2)



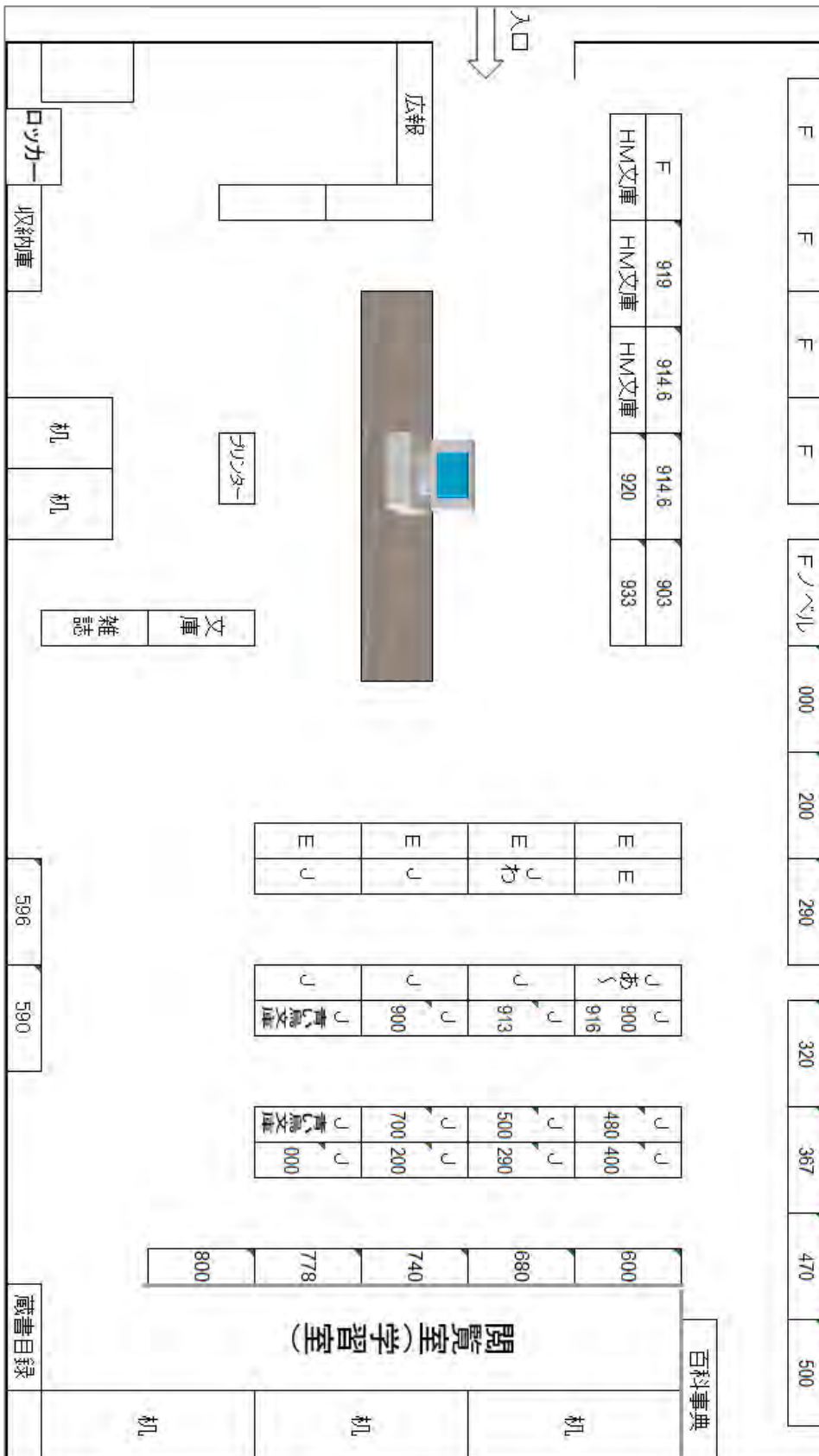
館内写真 (3)



館内写真 (4)

館内配置図（二十世紀が丘分館）

面積（延べ床）：90.03 m²



(18) 八柱分館

築年数	31年		所在地	松戸市牧の原1丁目193番地6				
職員	非常勤2名		施設	八柱市民センター				
面積(延べ床)	103.39㎡		設備	OPAC2台				
蔵書収容能力	15,500		座席数	20				
項目\年	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2017
蔵書冊数※1	—	13,000	19,000	18,000	16,674	17,225	16,893	17,376
貸出冊数	—	70,000	55,000	55,000	58,841	73,394	82,974	93,788
回転率※2	—	5.4	2.9	3.1	3.5	4.3	4.9	5.4
登録者数	—	—	—	—	—	4,535	4,594	3,771
利用者数※3	—	—	—	—	—	19,685	31,167	31,554
一人あたり 平均貸出冊数※4	—	—	—	—	—	3.73	2.66	2.97

日本図書館協会「日本の図書館」及び松戸市立図書館「平成30年度図書館要覧」より作成

※1 2000年までは1,000冊単位で記載

※2 貸出冊数÷蔵書冊数(1冊の本が1年間で何回貸し出されたかを示す)

※3 1年あたり1冊以上の貸出がある登録者

※4 貸出冊数÷利用者数

周辺地図



周辺環境

八柱分館は、JR 新八柱駅、新京成八柱駅からはおよそ徒歩 16 分の距離にあります。周辺は商業地と住宅地で、牧野原小学校はおよそ徒歩 7 分、常盤平第三小学校およそ徒歩 14 分、常盤平中学校およそ徒歩 13 分の距離にあります。近隣には、日暮、日暮 1 丁目～8 丁目、牧の原、牧の原 1～2 丁目地域におよそ 8,585 世帯 17,198 名が在住し、最も多い年齢層は、40 歳代 2,761 名で、次に 70 歳代 2,490 名、50 歳代 2,373 名です。

図書館の特徴

蔵書の分類からみると多い順に F 類 2,625 冊、9 類 1,468 冊、5 類 1,413 冊であり、最も貸出がある分類は多い順に F 類で、次に 5 類、2 類である。

利用者の特徴

平成 29 年度における貸出実績のある実利用者数を年齢層別にみると、多い順に 40 歳代 655 名、70 歳代 553 名、60 歳代 479 名となっています。人口分布図と周辺環境とを併せて考えてみると、周辺の在住者が利用していることがわかります。

現在の利用状況と今後の展開

八柱分館では、周辺住民と実利用者の年代はほぼ一致しています。周辺住民の中では 50 歳代の利用がやや少なく、実利用者には 70 歳代と 60 歳代が多い状況です。「望ましい基準」では“高齢者に対するサービス”について定められています。五香分館や東部分館、六実分館と同様に、60 歳代、70 歳代へのサービスとして検討が必要です。

図書館の写真（八柱分館）



建物正面



分館入口



館内写真（1）



館内写真（2）



館内写真（3）



館内写真（4）

館内配置図（八柱分館）

面積（延べ床）：103.39 m²



(19) 八ヶ崎分館

築年数	27年		所在地	松戸市八ヶ崎5丁目15番地1				
職員	非常勤2名		施設	八ヶ崎市民センター				
面積(延べ床)	93.18㎡		設備	OPAC2台				
蔵書収容能力	17,500冊		座席数	9席				
項目\年	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2017
蔵書冊数※1	—	—	15,000	15,000	16,329	16,668	17,376	17,104
貸出冊数	—	—	57,000	48,000	53,037	62,785	27,999	55,215
回転率※2	—	—	3.8	3.2	3.2	3.8	1.6	3.2
登録者数	—	—	—	—	—	3,798	3,530	2,784
利用者数※3	—	—	—	—	—	15,137	15,042	18,693
一人あたり 平均貸出冊数※4	—	—	—	—	—	4.15	1.86	2.95

日本図書館協会「日本の図書館」及び松戸市立図書館「平成30年度図書館要覧」より作成

※1 2000年までは1,000冊単位で記載

※2 貸出冊数÷蔵書冊数(1冊の本が1年間で何回貸し出されたかを示す)

※3 1年あたり1冊以上の貸出がある登録者

※4 貸出冊数÷利用者数

周辺地図



周辺環境

八ヶ崎分館は、鉄道の最寄り駅からは徒歩圏内にありません（馬橋駅から松戸新京成バス「常盤平駅北口」ゆきで「水砂」下車徒歩 4 分）。周辺には、21 世紀の森と広場、千駄堀多目的スポーツ広場があり、八ヶ崎小学校がおよそ徒歩 5 分、八ヶ崎第二小学校はおよそ徒歩 12 分の距離にあります。近隣には八ヶ崎 1 丁目～8 丁目におよそ 7,261 世帯 16,463 名が在住し、最も多い年齢層は、40 歳代 2601 名で、次に 50 歳代 2173 名、70 歳代 2,127 名、10 歳未満～10 歳代は計 2,752 名です。

図書館の特徴

蔵書の分類からみると多い順に F 類 2,814 冊、9 類 1,935 冊、5 類 1,362 冊であり、最も貸出がある分類は多い順に F 類、9 類、3 類です。

利用者の特徴

平成 29 年度における貸出実績のある実利用者数を年齢層別にみると、多い順に 40 歳代 372 名、70 歳代 324 名、60 歳代 282 名、18 歳以下 321 名となっています。人口分布図と周辺環境とを併せて考えてみると、周辺の在住者が利用していることがわかります。

現在の利用状況と今後の展開

八ヶ崎分館では、周辺住民に 10 歳未満～10 歳代が多いものの、実利用者は少ない状況です。「望ましい基準」では“児童・青少年に対するサービス”と、「これからの図書館像では“学校との連携・協力”について定められています。小金原分館、常盤平分館、稔台分館、矢切分館、東部分館、松飛台分館、二十世紀が丘分館と同様に 10 歳未満～10 歳代へのサービスとして検討が必要です。

図書館の写真（八ヶ崎分館）



建物正面



分館入口



館内写真 (1)



館内写真 (2)



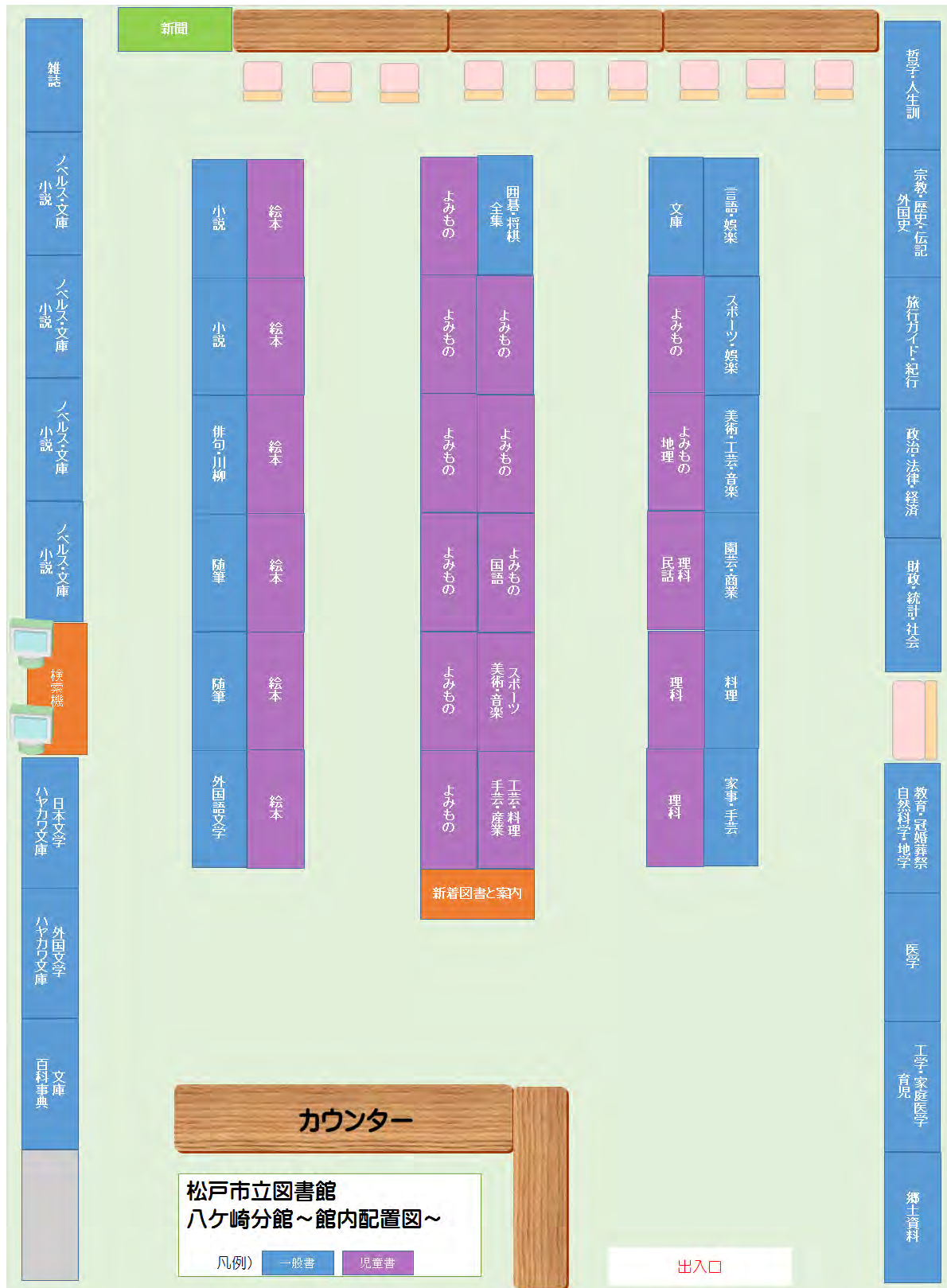
館内写真 (3)



館内写真 (4)

館内配置図（八ヶ崎分館）

面積（延べ床）：93.18 m²



(20) 和名ヶ谷分館

築年数	22年		所在地	松戸市和名ヶ谷1360番地				
職員	非常勤2名		施設	和名ヶ谷クリーンセンター、 和名ヶ谷スポーツセンター				
面積(延べ床)	183.53㎡		設備	OPAC2台、インターネット用PC1台				
蔵書収容能力	16,000冊		座席数	33席				
項目\年	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2017
蔵書冊数※1	—	—	—	20,000	19,826	20,890	22,293	23,299
貸出冊数	—	—	—	122,000	97,962	103,849	115,312	132,837
回転率※2	—	—	—	6.1	4.9	5.0	5.2	5.7
登録者数	—	—	—	—	—	9,615	9,800	7,953
利用者数※3	—	—	—	—	—	22,468	32,502	31,022
一人あたり 平均貸出冊数※4	—	—	—	—	—	4.62	3.55	4.28

日本図書館協会「日本の図書館」及び松戸市立図書館「平成30年度図書館要覧」より作成

※1 2000年までは1,000冊単位で記載

※2 貸出冊数÷蔵書冊数(1冊の本が1年間で何回貸し出されたかを示す)

※3 1年あたり1冊以上の貸出がある登録者

※4 貸出冊数÷利用者数

周辺地図



周辺環境

和名ケ谷分館は、JR・新京成松戸駅から松戸新京成バス「新東京病院」または「三矢小台」ゆきで「和名ケ谷スポーツセンター」下車徒歩 0 分の距離にあります。周辺には病院、市場、工業地、住宅地があり、和名ケ谷小学校はおよそ徒歩 8 分、和名ケ谷中学校はおよそ徒歩 5 分の距離にあります。和名ケ谷クリーンセンター・和名ケ谷スポーツセンターに併設しており、近隣には、和名ケ谷、松戸新田地域におよそ 9,843 世帯 22,059 名が在住し、最も多い年齢層は、40 歳代 4,170 名、で次に 50 歳代 2,784 名、30 歳代 2,710 名です。

図書館の特徴

蔵書の分類からみると多い順に F 類 3,725 冊、7 類 1,916 冊、9 類 1,818 冊であり、最も貸出がある分類は多い順に F 類で次に 5 類、9 類です。

利用者の特徴

平成 29 年度における貸出実績のある実利用者数を年齢層別にみると、多い順に 40 歳代 1,309 名、30 歳代 811 名、60 歳代 537 名となっています。人口分布図と周辺環境とを併せて考えてみると、周辺の在住者が利用していることがわかります。

現在の利用状況と今後の展開

和名ケ谷分館では、実利用者数の総数が他館よりも多い状況です。50 歳代が周辺住民に多いものの、実利用者としては多くありません。「望ましい基準」では“多様な学習機会の提供”について定められていることから、小金分館、馬橋分館と同様に 50 歳代へのサービスとして検討が必要です。

図書館の写真（和名ヶ谷分館）



建物正面



分館入口



館内写真 (1)



館内写真 (2)



館内写真 (3)



館内写真 (4)

館内配置図（和名ヶ谷分館）

面積（延べ床）：183.53 m²



今後の松戸市立図書館のあり方

- 98 -
2019年（平成31年）2月